

**令和元年度  
生駒市総合計画進行管理  
検証報告書  
(案)**

**令和2年●月  
生駒市総合計画審議会**

## 目 次

はじめに.....	1
I. 総合計画進捗状況の検証について.....	2
1. 総合計画進捗状況の検証手法.....	2
(1) 対象.....	2
(2) 進捗状況の検証.....	2
(3) 総合計画審議会での検証体制.....	2
II. 総合計画進捗状況の検証結果.....	4
1. 進捗状況の判定方法.....	4
2. 検証結果の概要.....	5
(1) 細分野別検証結果.....	5
(2) 大分野別検証結果.....	7
(3) 進捗度別件数表.....	8
(4) 指標の達成状況.....	10
3. 進行管理検証シート.....	13
(1) 進行管理検証シートの見方.....	13
(2) 進行管理検証シート.....	15
(3) 戦略的施策.....	76
資料.....	84
1. 生駒市総合計画審議会条例.....	84
2. 生駒市総合計画審議会委員名簿.....	86
(1) 生駒市総合計画審議会委員名簿.....	86
(2) 生駒市総合計画審議会部会別委員名簿.....	87

## はじめに

第6次生駒市総合計画は、平成31年3月に策定され、令和元年度から第1期基本計画の計画期間がスタートしている。

総合計画の進行管理については、平成22年に総合計画推進市民委員会が設置され、継続的に進行管理が行われてきたところであるが、計画策定と進行管理を一体的に総合計画審議会で審議できるよう、平成24年に総合計画審議会条例が改正され、総合計画審議会の所掌事務に計画の進行管理機能が追加された。現在の総合計画審議会は、学識経験者、団体代表者、市民公募委員で構成する計12名の委員で構成されている。

この報告書は、第6次総合計画第1期基本計画の計画初年度である令和元年度分の進行管理について、令和2年6月30日に市長から諮問を受け、本年7月から10月までに全体会1回、部会6回、延べ7回にわたって集中的に会議を開催し審議を重ねた結果、次頁以降のとおり検証結果を取りまとめた。

検証にあたっては、第5次総合計画後期基本計画進行管理での改善事項を踏まえ、検証シートのフォーマットの大幅な変更を行った。特に、「行政の5年間の主な取組」について、「5年後のまち」の実現に向けて効果のあった取組に特化して記入するとともに、新たに設定した細分野ごとに進捗度を判定した。

第5次総合計画から開始した総合計画の進行管理は、市の取組として既に定着しており、進行管理を進める中で各担当部局における総合計画に対する意識の向上が見られ、PDCAサイクルマネジメントが機能している。今後も確実に計画の進行管理を遂行するとともに、第6次総合計画における目指す将来都市像の実現に向けて引き続き取組を進められたい。

生駒市総合計画審議会

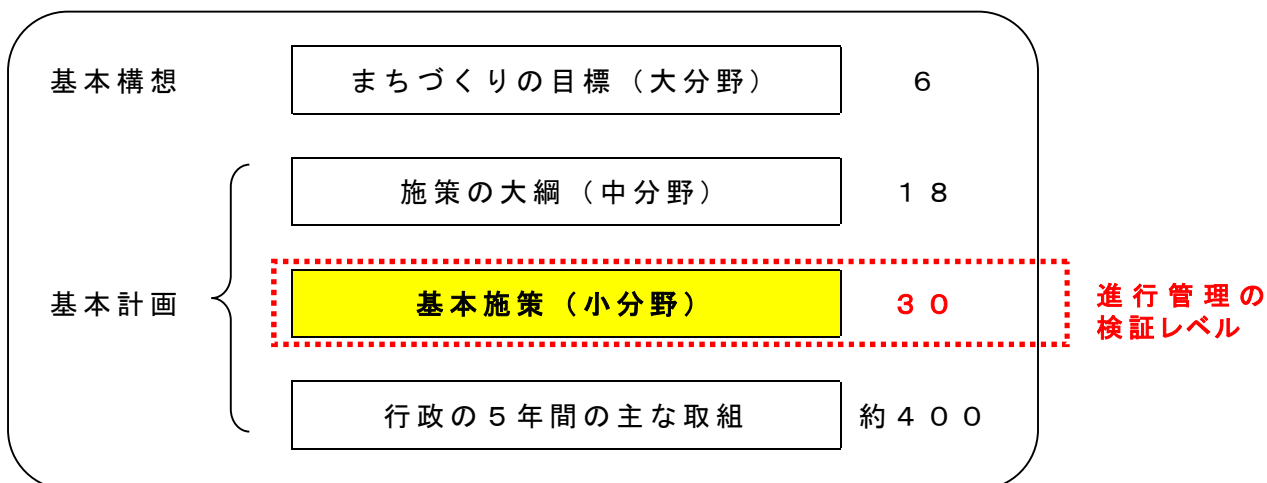
## I. 総合計画進捗状況の検証について

### 1. 総合計画進捗状況の検証手法

#### (1) 対象

第6次総合計画第1期基本計画では、生駒市の将来都市像「自分らしく輝けるステージ・生駒」を実現するため、6つの『まちづくりの目標』を掲げ、18の『施策の大綱』、30の『基本施策』を位置付けており、5年後のまちの実現に向けて約400の取組を掲げているが、第1期基本計画を構成する最も基本的な単位である30の基本施策（小分野）を対象とする。

#### < 施策の体系 >



#### (2) 進捗状況の検証

事前に行政内部において計画の進捗状況の検証・分析を行い、計画の進捗度合いを測っている。その上で、外部委員会（総合計画審議会）において行政内部で測った進捗度について進捗管理検証シートをもとに審議を行い、審議会からの意見を付した上で、最終的な計画の進捗度とする。

#### (3) 総合計画審議会での検証体制

総合計画審議会では、審議会（12名）を3部会（各4名）に分け、全30分野を行政経営・安全分野（10分野）、都市基盤・環境分野（10分野）、福祉・教育分野（10分野）に区分して、各部会で検証を行った。部会開催前の全体会では、検証方法の確認を行い、部会開催後の全体会では、検証結果のとりまとめを行った。部会は、令和2年7月から8月にかけて、第一部会、第二部会、第三部会をそれぞれ2回ずつ開催した。

審議会開催日程		第 1 回	第 2 回
全体会		令和 2 年 6 月 3 0 日	令和 2 年 1 0 月 2 日
部会	第一部会	令和 2 年 7 月 2 0 日	令和 2 年 7 月 2 8 日
	第二部会	令和 2 年 7 月 2 1 日	令和 2 年 8 月 3 日
	第三部会	令和 2 年 7 月 3 0 日	令和 2 年 8 月 5 日

部会	No.	小分野名	分野数
第一部会 (行政経営・安全分野)	141	防災	10 分野
	142	消防	
	151	生活安全	
	311	人権・多文化共生	
	312	男女共同参画	
	321	市民協働・地域コミュニティ	
	611	行政経営	
	612	情報提供・情報利活用	
	613	財政経営	
	614	職員・行政組織	

部会	No.	小分野名	分野数
第二部会 (都市基盤・環境分野)	411	住宅環境	10 分野
	412	都市づくり	
	421	道路・公共交通	
	422	上下水道	
	431	低炭素・循環型社会	
	432	生活環境	
	441	緑環境・公園	
	511	都市活力創造	
	521	商工観光	
	531	農業	

部会	No.	小分野名	分野数
第三部会 (福祉・教育分野)	111	健康づくり	10 分野
	112	医療	
	121	高齢者保健福祉・地域福祉	
	131	障がい者保健福祉	
	211	母子保健	
	212	子ども・子育て支援	
	221	学校教育	
	222	青少年	
	331	生涯学習・スポーツ	
	332	歴史・文化振興	

## Ⅱ．総合計画進捗状況の検証結果

### 1．進捗状況の判定方法

分野の進捗度については、細分野ごとに指標の動向や行政の5年間の主な取組状況などを総合的に判断し、計画で掲げた「5年後のまち」がどの程度実現できたかを6段階（A～C3）で判定したものである。

- A : 5年後のまちをすでに実現している
- B1 : 5年後のまちの実現に向けて順調に進んでいる
- B2 : 5年後のまちの実現に向けて概ね順調に進んでいる
- C1 : 5年後のまちの実現にはもう少し努力が必要である
- C2 : 5年後のまちの実現には努力が必要である
- C3 : 5年後のまちの実現には相当努力が必要である

#### 《各分野の点数化の方法》

細分野ごとに「進捗度」A～C3を以下のとおり点数化した。

- A : 5点
- B1 : 4点
- B2 : 3点
- C1 : 2点
- C2 : 1点
- C3 : 0点

大分野ごとにそれぞれ点数の平均点を算出し、点数化を行っている。

#### 《大分野の算定方法》

大分野の各進捗度は、上記の方法で点数化した数値から以下の基準に基づいて進捗度を決定している。

- A : 4.5点以上
- B1 : 3.5点以上 4.5点未満
- B2 : 2.5点以上 3.5点未満
- C1 : 1.5点以上 2.5点未満
- C2 : 0.5点以上 1.5点未満
- C3 : 0.5点未満

## 2. 検証結果の概要

### (1) 細分野別検証結果

総合計画分野名		市民実感度※1	「市民ができること」取組状況※2	指標	進捗度
1 安全で、安心して健康に暮らせるまち		33.9%	26.5%		<b>B2</b>
11 健康づくりの推進と医療サービスの充実					
111 健康づくり	① 身体の健康	50.5%	53.7%	目標値を達成している	B1
	② 心の健康	51.2%	13.3%	目標値に達していない	C1
112 医療	① 地域医療	45.0%	52.7%	目標値に達していない	C1
	② 在宅医療・医療介護連携	36.1%	46.8%	目標値に達していない	B2
	③ 医療保険制度	54.2%	58.6%	目標値を達成している	B2
12 高齢者の生活を支えるサービスの実施					
121 高齢者保健福祉・地域福祉	① 地域包括ケアシステム	26.9%	9.8%	目標値に達していない	C1
	② 認知症対策	23.6%	14.6%	目標値を達成している	C1
	③ 地域福祉活動	35.7%	11.4%	目標値に達していない	C1
13 障がい者の日常生活と社会生活における支援の実施					
121 障がい者保健福祉	① 障がい者理解・権利擁護	25.6%	19.9%	目標値を達成している	B2
	② 社会参加・就労支援	25.2%	9.0%	目標値を達成している	B2
	③ 生活支援	27.2%	7.8%	目標値を達成している	B2
14 地域防災体制の充実					
141 防災	① 災害対策	36.3%	27.6%	目標値を達成している	C1
	② 自主防災	29.0%	18.7%	目標値を達成している	C1
	③ 防災体制	25.9%	12.1%	目標値を達成している	C1
142 消防	① 予防	29.5%	44.0%	目標値を達成している	B2
	② 警防・救助	31.9%	10.0%	目標値を達成している	B2
	③ 救急	29.7%	43.7%	目標値を達成している	B2
15 生活の安全の確保					
151 生活安全	① 交通安全	32.6%	8.5%	目標値を達成している	B1
	② 防犯	34.2%	10.0%	目標値を達成している	C1
	③ 消費者保護	28.4%	56.8%	目標値に達していない	C2
2 未来を担う子どもたちを育むまち		35.1%	9.7%		<b>C1</b>
21 子育て支援の充実					
211 母子保健	① 産前産後	35.9%	21.5%	目標値に達していない	B2
	② 育児	43.1%	6.5%	目標値に達していない指標がある	B2
212 子ども・子育て支援	① 保育	38.2%	14.6%	目標値を達成している	C1
	② 就学前教育	34.7%	8.4%	目標値に達していない	C2
	③ 子育て支援	34.9%	5.5%	目標値に達していない	C1
22 学校教育の充実					
221 学校教育	① 学校教育	33.6%	18.8%	目標値に達していない	B2
	② 特別支援教育	25.1%	5.3%	目標値に達していない	B2
	③ 学校施設	43.7%	4.2%	目標値に達していない	C2
222 青少年	① 健全育成	36.6%	9.4%	目標値に達していない	B2
	② 自立支援	25.6%	2.5%	目標値を達成している	B2
3 人権が尊重され、市民が輝く、文化の薫り高いまち		30.0%	17.8%		<b>C1</b>
31 人権の尊重					
311 人権・多文化共生	① 人権	24.1%	27.3%	目標値に達していない指標がある	B2
	② 多文化共生	32.5%	30.4%	目標値を達成している	C1
312 男女共同参画	① 共同参画の意識形成	25.1%	42.3%	目標値を達成している	C1
	② 女性活躍推進	24.5%		目標値に達していない指標がある	C1
32 市民参画・協働と地域コミュニティの活性化					
321 市民協働・地域コミュニティ	① 市民協働・協創	32.7%	11.9%	目標値に達していない	C2
	② 地域活動	33.6%	24.6%	目標値に達していない	C2
	③ 市民活動	24.5%	7.4%	目標値を達成している	B2
33 生涯学習・文化・スポーツ活動の推進					
331 生涯学習・スポーツ	① 生涯学習	32.1%	7.1%	目標値に達していない	B2
	② 図書館	39.1%	8.9%	目標値を達成している	B2
	③ スポーツ	31.0%	19.9%	目標値を達成している	C1
332 歴史・文化振興	① 歴史・伝統文化	29.7%	6.6%	目標値に達していない	C1
	② 文化振興・文化活動	31.0%	9.6%	目標値を達成している	B2

総合計画分野名		市民実感度	「市民ができること」取組状況	指標	進捗度
4 人と自然が共生する、住みやすく活動しやすいまち		35.5%	25.6%		B2
41 適切な土地利用の推進・学研都市との連携					
411 住宅環境	① 住環境	40.5%	7.9%	目標値を達成している	B1
	② 住宅性能	48.0%	49.4%	目標値を達成している	B2
412 都市づくり	① 土地利用	39.0%	19.0%	目標値に達していない	B2
	② 拠点形成・地域形成	32.0%	5.3%	目標値を達成している	B2
	③ 学研都市	21.1%	3.0%	目標値を達成している	C1
42 交通ネットワークと生活基盤の整備					
421 道路・公共交通	① 幹線道路	37.9%	5.3%	目標値を達成している	B1
	② 生活道路	28.7%	3.2%	目標値を達成している	B1
	③ 公共交通	31.8%	37.8%	目標値に達していない	C1
422 上下水道	① 上水道	57.8%	42.0%	目標値を達成している	B1
	② 下水道	47.7%	35.0%	目標値を達成している	B1
43 低炭素・循環型社会の構築と生活環境の保全					
431 低炭素・循環型社会	① 5R	42.3%	51.9%	目標値に達していない	C1
	② 再エネ	20.3%	13.7%	目標値に達していない	C1
	③ 省エネ	24.5%	49.1%	目標値を達成している	B1
432 生活環境	① 地域美化・環境衛生	41.8%	61.3%	目標値に達していない指標がある	B2
	② 都市生活型公害対策	26.4%	6.4%	目標値を達成している	B1
44 緑・水環境の保全と創出					
441 緑環境・公園	① 緑の保全	28.4%	32.7%	目標値に達していない	B1
	② 緑の創造	40.0%	34.8%	目標値を達成している	B1
	③ 公園整備	31.5%	3.2%	目標値を達成している	B1
5 地域の資源と知恵を活かし、魅力と活力あふれるまち		18.5%	19.1%		B2
51 都市ブランドの構築による都市活力の向上					
511 都市活力創造	① 都市ブランド形成	25.6%	11.6%	目標値に達していない指標がある	B2
	② 公民連携	19.9%	5.9%	目標値に達していない	C2
52 商工業と観光の振興					
521 商工観光	① 企業立地	19.2%	7.7%	目標値を達成している	C1
	② 商工業	16.3%	44.4%	目標値を達成している	C1
	③ 観光	11.4%	29.7%	目標値を達成している	C1
53 農業の振興					
531 農業	① 農地保全	14.3%	4.6%	目標値を達成している	B1
	② 農地活用	19.9%	10.7%	目標値に達していない	B2
	③ 地産地消	21.2%	38.0%	目標値を達成している	B2
6 持続可能な行財政経営を進めるまち					C1
61 健全で効果的・効率的な行財政運営の推進					
611 行政経営	① 行政マネジメント			目標値に達していない	C2
	② 公共施設			目標値を達成している	C2
	③ EBP M			目標値を達成している	C3
612 情報提供・情報利活用	① 情報提供			目標値に達していない	B2
	② 情報利活用			目標値を達成している	C1
	③ 情報通信技術の活用			目標値を達成している	B2
613 財政経営	① 財政運営			目標値に達していない指標がある	C1
	② 公会計			目標値に達していない	B2
614 職員・行政組織	① 人事制度			目標値に達していない	B2
	② 人材育成			目標値を達成している	B2
	③ 行政組織			目標値に達していない	B2

※1 市民実感度：市民満足度調査における「5年後のまち」実現実感度を問う設問について、「そう思う」、「どちらかというそう思う」、「どちらともいえない」、「どちらかというそう思わない」、「そう思わない」の5段階の選択肢のうち、「そう思う」または、「どちらかというそう思う」と回答した割合を合算して算出。

※2 「市民ができること」取組状況：市民満足度調査における「市民ができること」の取組状況を問う設問について、「十分取り組んでいる」、「取り組んでいる」、「少し取り組んでいる」、「あまり取り組んでいない」、「全く取り組んでいない」の5段階の選択肢のうち、「十分取り組んでいる」または、「取り組んでいる」と回答した割合を合算して算出。

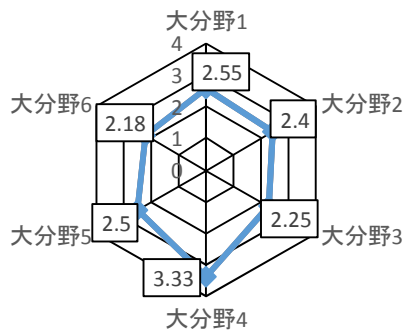


## (2) 大分野別検証結果

### (まちづくりの目標別)

- 大分野 1 … 安全で、安心して健康に暮らせるまち
- 大分野 2 … 未来を担う子どもたちを育むまち
- 大分野 3 … 人権が尊重され、市民が輝く、文化の薫り高いまち
- 大分野 4 … 人と自然が共生する、住みやすく活動しやすいまち
- 大分野 5 … 地域の資源と知恵を活かし、魅力と活力あふれるまち
- 大分野 6 … 持続可能な行財政運営を進めるまち

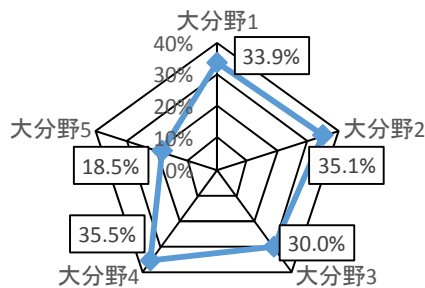
大分野別進捗度(得点化)



進捗度は、大分野4が最も高く3.33となった。一方で、大分野6が最も低く2.18であった。

細分野ごとに見ると79分野中、32分野が進捗度B2、25分野が進捗度C1となっている。進捗度Aは見られなかったが、1分野が進捗度C3であった。

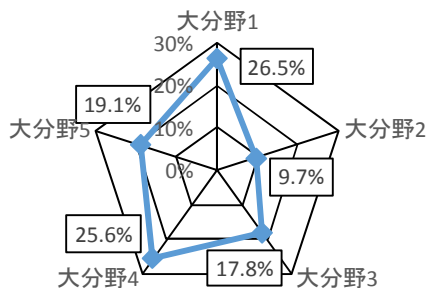
大分野別市民実感度



「5年後のまち」の実現状況について、「そう思う」または「どちらかというと思う」と回答した割合は、大分野4が最も高く35.5%であった。一方で大分野5が最も低く18.5%であった。大分野間で実感度に大きな開きが見られた。

※大分野6の経営的施策については、市民満足度調査において市民実感度の設問を設定していない。

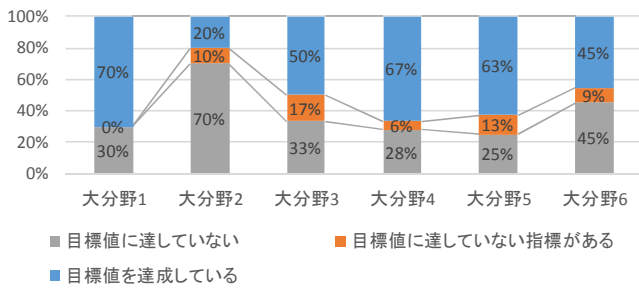
大分野別「市民ができること」取組状況



「市民ができること」の取組状況について、「十分取り組んでいる」または、「取り組んでいる」と回答した割合は、大分野4が最も高く25.6%であった。一方で大分野2が最も低く9.7%であった。大分野間で取組状況に大きな開きが見られた。

※大分野6の経営的施策については、市民満足度調査において「市民ができること」取組状況の設問を設定していない。

大分野別指標の達成状況



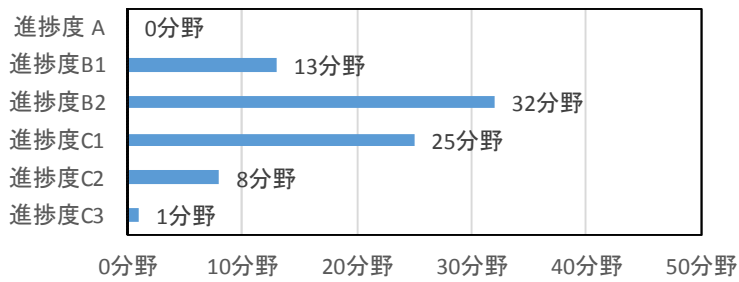
指標については、各大分野間で達成割合の偏りが見られる。大分野1、3、4では60%以上が「目標値を達成している」となったが、大分野2では60%が「目標値に達していない」となった。

全体としては、79細分野中、「目標値を達成している」が44分野と最も多く、「目標値に達していない」が25分野となっている。

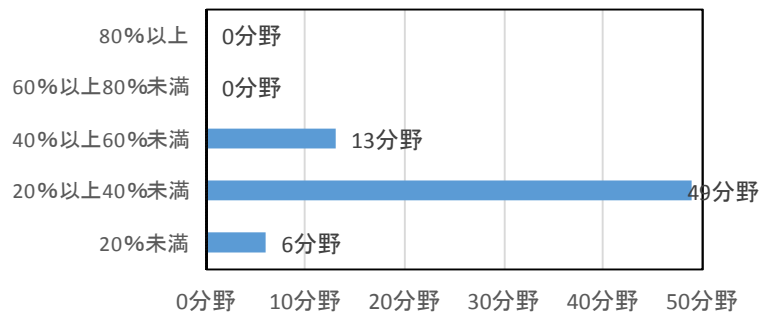
(3) 進捗度別件数表

(単位：細分野)

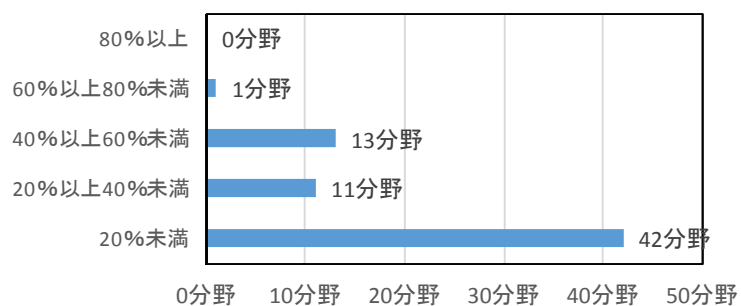
進捗度



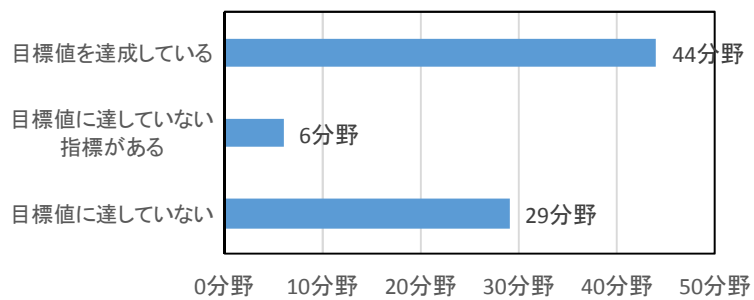
市民実感度



### 「市民ができること」取組状況



### 指標



(4) 指標の達成状況

No.	小分野 No.	指標名	H30(直近) の数値	R1の 目標値	R1の 実績値	目標達成	担当課
1	1-1-1	がん検診精密検査受診率	85.6	86.3	88.4	○	健康課
2		自殺死亡率	12.4	12.2	18.3	×	健康課
3		市内救急搬送率	73.2	75.6	73.3	×	地域医療課・警防課
		小児科患者市内救急搬送率	27.3	35.0	30.0		
4	1-1-2	入院時情報提供率	73.8	77.0	78.1	×	地域医療課
		退院調整率	83.0	84.4	82.5		
5		国保被保険者一人当たりの医療費	378,381	381,695	379,473	○	国保医療課
6		介護予防・日常生活支援総合事業参加人数	111,199	138,651	117,196	×	地域包括ケア推進課
7	1-2-1	認知症サポーター養成人数	9,208	9,943	10,908	○	地域包括ケア推進課
8		住民主体の「通いの場」の数	127	133	132	×	地域包括ケア推進課
9	1-3-1	あいサポーター養成人数	1,259	1,350	1,428	○	障がい福祉課
10		障がい者職場体験受け入れ人数	17	19	19	○	障がい福祉課
11		相談支援実施件数	18,998	19,200	21,607	○	障がい福祉課
12	1-4-1	避難所・緊急避難場所等防災関連表示の設置数	4	6	9	○	防災安全課
13		学校区程度の単位での防災訓練の実施回数	5	5	5	○	防災安全課
14		職員を対象とした災害対応研修の実施回数	2	3	3	○	防災安全課
15	1-4-2	年間建物火災発生件数	10	13	13	○	予防課
16		消防隊現場到着後の年間延焼棟数	0	0	0	○	消防署
17		救命講習会の受講者数	2,645	2,740	2,849	○	消防署
18	1-5-1	交通事故(人身)の発生件数	219	217	198	○	防災安全課
19		刑法犯罪の認知件数	473	469	382	○	防災安全課
20		消費者相談等の消費者保護対策の満足度	48.2	51.0	49.3	×	消費生活センター
21		パパママ教室参加率	36.6	38.5	32.6	×	健康課
22	2-1-1	新生児・乳児訪問の実施率	98.7	99.1	99.2	○	健康課
23		乳幼児健診受診率	94.8	96.2	94.0	×	健康課
24	2-1-2	保育所利用定員数	2,424	2,468	2,625	○	こども課
25		預かり保育利用園児数	13,840	18,000	12,926	×	こども課
26		市直営拠点(みっきランド・はばたきみっき)利用者数	30,040	30,731	21,893	×	子育て支援総合センター
27		自分にはいいところがあると思う児童生徒の割合	79.3	80.0	79.8	×	教育指導課
28	2-2-1	ことばの教室・通級指導教室エルへの通級者数	215	217	193	×	教育指導課
29		施設の満足度(小中学校)	56.6	62.0	58.0	×	教育総務課
30	2-2-2	青少年健全育成事業参加人数	3,799	5,300	5,219	×	生涯学習課
31		ユースネットいこま相談者数	95	96	118	○	生涯学習課

No.	小分野 No.	指標名	H30(直近) の数値	R1の 目標値	R1の 実績値	目標達成	担当課
32		人権教育地区別懇談会の開催地区数	16	35	32	×	人権施策課
33	3-1-1	講演会等参加者の人数	3,771	4,800	5,771	○	人権施策課
34		日本語教室の学習者数	2,715	3,800	4,462	○	人権施策課
35		男女共同参画啓発講座等の開催数	85	100	103	○	男女共同参画プラザ
36	3-1-2	市の附属機関等の女性委員の割合	30.7	35.0	29.8	×	男女共同参画プラザ
37		市内のイクボス宣言事業者数	46	50	56	○	男女共同参画プラザ
38		参画と協働の事業数	273	280	279	×	市民活動推進課
39	3-2-1	自治会加入世帯数	39,044	39,068	39,004	×	市民活動推進課
40		コーディネート件数	159	165	178	○	市民活動推進センター
41		生涯学習施設の利用者数	1,095,748	1,142,000	1,060,697	×	生涯学習課
42	3-3-1	団体貸出登録数	96	100	110	○	図書館
43		市、総合型地域スポーツクラブ、体育施設指定管理者等のスポーツイベントの参加者数	40,769	40,900	43,861	○	スポーツ振興課
44		歴史文化系講座等参加者数	954	980	636	×	生涯学習課
45	3-3-2	文化芸術活動の参加者数	36,596	36,900	37,244	○	生涯学習課
46		空き家流通促進プラットフォーム取扱件数	29	55	59	○	住宅政策室
47	4-1-1	多様な住まい方・空き家活用関連事業参加者数	184	340	376	○	住宅政策室
48		耐震化に関する補助件数	251	281	297	○	建築課
49		特定生産緑地面積	0.0	4.9	0.0	×	都市計画課
50	4-1-2	まちづくり事業への参加者数	206	340	589	○	都市計画課
51		地権者組織への加入率	58.8	60.0	64.5	○	学研推進室
52		道路整備を計画している箇所を整備済延長割合	23.5	31.0	31.0	○	土木課
53	4-2-1	橋梁長寿命化計画に基づく健全な橋梁数	26	26	27	○	管理課
54		「たけまる号」の乗車人数	102,110	106,594	89,549	×	事業計画課
55		有効率	98.6	98.0	98.9	○	工務課
56	4-2-2	浄水施設の耐震化率	48.5	48.5	48.5	○	浄水場
57		下水道普及率	70.9	71.4	71.4	○	下水道課
58		1人1日当たりの燃えるごみ排出量	437	426	439	×	環境保全課
59	4-3-1	再エネによる発電容量	26,340	28,545	27,135	×	SDGs推進課
60		1人当たりCO2排出量	2.47	2.42	2.25	○	SDGs推進課
61		空き地等適正管理指導件数	53	50	30	○	環境保全課
62	4-3-2	不法投棄の回収量	11,070	8,197	9,230	×	環境保全課
63		公害相談件数	14	13	12	○	環境保全課
64		緑地面積の割合(市全域)	47.87	47.87	47.87	×	みどり公園課
		緑地面積の割合(市街化区域内)	19.90	19.92	19.90		
65	4-4-1	花のまちづくりセンターにおける講習会等の回数	373	375	402	○	花のまちづくりセンター
66		自治会による公園の維持管理の割合	92	92	93	○	みどり公園課

No.	小分野 No.	指標名	H30(直近) の数値	R1の 目標値	R1の 実績値	目標達成	担当課
67	5-1-1	推奨意欲を持つ人の割合	58.7	63.0	60.0	×	広報広聴課
68		都市ブランド構築のための庁内事業連携・支援件数	6	9	9	○	広報広聴課
69		連携窓口を通じた民間企業等からの相談・提案件数	0	2	0	×	ICTイノベーション推進課
70	5-2-1	企業立地件数	17	20	21	○	商工観光課
71		展示会出展支援件数	16	17	29	○	商工観光課
72		観光ボランティアガイド利用者数	2,400	2,424	2,819	○	観光振興室
73	5-3-1	青年新規就農者数	13	14	14	○	農林課
74		遊休農地活用事業面積	52,285	52,285	50,406	×	農林課
75		地場野菜等を地元飲食店が使用、事業者が販売している件数	13	14	14	○	農林課
76	6-1-1	総合計画の進行管理のために設定した指標の達成割合	55.8	75.0	60.5	×	企画政策課
77		公共施設マネジメント推進計画に掲げる目標の達成割合	0	0	0	○	行政経営課
78		実証的研究による効果計測の実施件数	0	0	0	○	企画政策課
79	6-1-2	広報紙からの情報収集率	-	78.9	76.0	×	広報広聴課
		ホームページからの情報収集率	-	73.1	57.3		
80		オープンデータ公開件数	275	290	314	○	ICTイノベーション推進課
81		コンビニ交付等の利用率	24.1	25.0	25.1	○	市民課
82	6-1-3	経常収支比率	93.5	95.4	94.3	○	財政課
83		実質公債費比率	2.5	2.7	4.6	×	財政課
84		資産老朽化比率	60.8	60.8	61.6	×	財政課
85	6-1-4	時間外勤務手当	178,424	176,640	177,151	×	人事課
86		職員の地域における課題解決能力・協創力の向上に資する研修・勉強会等の開催数	-	3	4	○	人事課
87		プロジェクトチームによる事業実施件数	-	2	1	×	企画政策課
達成率	全指標の達成数				52		
	R1目標値を達成している指標の割合 (達成指標/87指標)				59.8%		

※指標名の欄が緑色のものは減少目標。

### 3. 進行管理検証シート

#### (1) 進行管理検証シートの見方

##### 基本計画の分野

##### ①まちづくりの目標 <大分野>

第6次総合計画基本構想に示された将来都市像を実現するために定めた6項目のまちづくりの目標。

##### ②施策の大綱 <中分野>

基本構想に掲げるまちづくりの目標を実現するために、より具体化した施策の大綱となるもので、18項目からなる。

##### ③基本施策 <小分野>

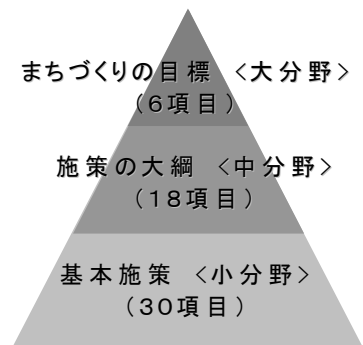
各施策の大綱を構成する基本的な単位となる30の施策。

##### ④細分野

30の小分野をさらに細かく細分化したものとして79分野を設定。

##### ⑤5年後のまち

総合計画に掲げるまちづくりの目標を達成するために、細分野ごとに市民や事業者、行政が共に実現を目指す将来の暮らしや、まちの姿などを示したもの。



#### 1 市民実感度

##### ①設問

基本計画で定める「5年後のまち」について、市民の実感としてまち全体がどの程度実現しているかを市民満足度調査で問うている。

##### ②評価

「5年後のまち」実現実感度を問う設問について、「そう思う」、「どちらかというと思う」、「どちらともいえない」、「どちらかというと思う」、「そう思わない」の5段階の選択肢のうち、「そう思う」または、「どちらかというと思う」と回答した割合を合算して算出。なお、アンケートは69の設問を3組に分け、各々1,000人の方にアンケート調査を実施（令和2年8月）。

#### 2 行政の5年間の主な取組

### ① 5年後のまちの実現に効果のあった取組

基本計画の「行政の5年間の主な取組」に掲げる項目のうち、特に「5年後のまち」の実現に向けて効果のあった取組を細分野ごとに3つまで選択。

### ② 取組による5年後のまちへの効果とその根拠

選択した各取組について、令和元年度に実施したことと、実施したことが「5年後のまち」の実現にどのように効果があったかを記載。

## 3 多様な主体との協創

基本計画の「多様な主体との協創」に掲げる項目のうち、「5年後のまち」の実現に効果があった取組を記載。

## 4 5年後のまちを実現するにあたっての課題

「5年後のまち」を実現するにあたっての課題と、どのようにその課題を解決しているかと考えているかを記載。また、課題解決のために必要な要素を選択。

## 5 指標

### ① 指標名

各細分野の「5年後のまち」の実現に向けて、その達成度合いを測る「ものさし」として、客観的に数値化可能な指標として、その分野で代表的なものを設定している。指標名の後の（ ）内には単位を示している。現状を適切に把握できるように、分野によっては複数の指標を設定している。

### ② 指標の動向

[推移のグラフ]

主に令和5年度までの達成すべき目指す値（ピンク色のグラフ）と実績値（紺色のグラフ）を記載している。

[目指す値]

目指す値は、市民、事業者、行政等が共に取り組むことで達成する値で、当該年度における目標値を示している。

[実績値]

直近の実績値（基本的には令和元年度末の数値）を記載している。評価時点で数値が確



定していない指標、数値の把握が毎年できない指標などについては、直近値が昨年度もしくは見込値となっている場合がある。

## 6 市民ができること

### ① 設問

基本計画に掲げる「市民ができること」のうち細分野ごとに1つを抽出し、市民満足度調査で市民がどの程度取り組んでいるかを問うたもの。

### ② 評価

「市民ができること」の取組状況を問う設問について、「十分取り組んでいる」、「取り組んでいる」、「少し取り組んでいる」、「あまり取り組んでいない」、「全く取り組んでいない」の5段階の選択肢のうち、「十分取り組んでいる」または、「取り組んでいる」と回答した割合を合算して算出。

## 7 分野全体の進捗状況

### ① 細分野の進捗度

市民実感度、市民ができることの取組状況、指標と行政の取組状況から細分野に掲げる「5年後のまち」の実現度合いを担当課が6段階（A～C3）で進捗度を判定したもの。担当課が判断した進捗度が審議会に変更になった場合は矢印で変更後の進捗度を記載。

A	: 5年後のまちをすでに実現している	B1	: 5年後のまちの実現に向けて順調に進んでいる
B2	: 5年後のまちの実現に向けて概ね順調に進んでいる	C1	: 5年後のまちの実現にはもう少し努力が必要である
C2	: 5年後のまちの実現には努力が必要である	C3	: 5年後のまちの実現には相当努力が必要である

### ② 進捗度の理由

細分野の進捗度を判断した理由について、担当課が簡潔に記載したもの。

## 8 総合計画審議会からの「5年後のまち」実現に向けた提言

取組状況を踏まえた行政内部での検証結果や進捗度の妥当性について、審議会が出された意見や、各細分野で掲げる「5年後のまち」の実現に向けた提言を記載したもの。

### (2) 進行管理検証シート

(次頁以降)

1-1-1 健康づくり

細分野	5年後のまち	5年後のまちの実現に効果のあった取組 (効果のあった取組から順に)		取組による5年後のまちへの効果の内容とその根拠
① 身体 の健康	①健(検)診や地域の活動により、一人ひとりが自然に健康に対する関心を持ち、元気で生きがいを持った市民が増えている。	①②	科学的根拠に基づくがん(胃・子宮・肺・乳・大腸)検診の実施と精度管理による質の確保及び受診しやすい体制を整えます。	生駒市がん検診指定医療機関に対し、検診体制にかかる確認を実施。また、「精密検査未報告者」の受診状況報告を依頼し、精密検査受診率の向上とがん検診の質の確保に努めることができた。子宮頸がん個別検診については、市医師会に個別契約の意向を伝え、県内の子宮頸がん検診実施21医療機関に対し、次年度個別契約の締結に向け協力依頼を実施。受診しやすい環境づくりにつなげることができた。
	①⑦		生駒健康ウォーキングマップを活用した歩こう会や地域組織に同マップを活用した運動事業を推進します。	歩こう会は、「生駒健康ウォーキングマップ24」を活用し、市民団体(生駒市健康づくり推進員連絡協議会、生駒市観光ボランティアガイドの会)の協力を得て、コースの先導やウォーキング中のストレッチ指導に加え、市内の名所や景観等の名所ガイドを実施。H29年度からH31年度の3年間で、24コースあるウォーキングマップのうち12コースで歩こう会を実施でき、市民に身近な場所で、日々の健康づくりにつなげることができた。
	市民実感度 【市民満足度調査 R2.8月実施】	①⑧	禁煙相談やイベントを開催し、禁煙や受動喫煙防止の啓発を行います。	ふるさと生駒応援寄付金を活用し、「禁煙サポートプログラム」というインターネットシステム利用。市看護職員が個々の悩みに応じた応援メールで禁煙をサポートすることで、参加者の6割が卒煙に成功。さらに、卒煙成功者が広報いこまちの禁煙特集の表紙やコラムに出演し、啓発の一翼を担った。また、中学校や自治会の協力依頼に応じて、PTAの活動や自治会の催しで出前講座を実施し、幅広い世代へ受動喫煙や新型たばこの害について啓発することができ、健康に対して関心を持ってもらうことができた。
	「5年後のまちが実現していると思う」+「どちらかといえば実現していると思う」の割合			
細分野	5年後のまち	5年後のまちの実現に効果のあった取組 (効果のあった取組から順に)		取組による5年後のまちへの効果の内容とその根拠
② 心 の健康	②住民同士の声かけや助け合い活動、相談機関の活用により、心の健康が維持でき、自分らしく生きがいを持ち、安心して暮らすことができている。	②③	健康づくりリーダーの養成にあたって、ゲートキーパーに関する内容をより充実させ、人材育成を図ります。	健康づくりリーダーである市民団体(生駒市健康づくり推進員連絡協議会)や前年の健康づくりリーダー養成講座受講者に対し、ゲートキーパーに関する研修会を実施。また、寿大学等でゲートキーパーに関する講座を実施し、人材育成につなげることができた。
	②⑤		生駒市自殺対策計画に基づき、庁内横断的な相談支援体制を整えます。	行政の最大の責務は住民の命を守ることであり、自殺対策は住民の命を守る取組そのものであることから、生駒市自殺対策協議会設置要綱を制定し、自殺対策協議会を開催。自殺対策の経緯、生駒市の自殺の現状、今後の進捗、協議会の運営等について参加者に説明し、協議会開催を生きる支援の第1歩として、自殺対策の全庁的な取組推進を行うことができた。
	市民実感度 【市民満足度調査 R2.8月実施】	②⑤		
	「5年後のまちが実現していると思う」+「どちらかといえば実現していると思う」の割合			

「市民ができること」取組状況		「十分取り組んでいる」+ 「取り組んでいる」	(参考) 前回
		【市民満足度調査 R2.8月実施】	
①	個人レベルで健(検)診や食事、運動等に関心を持ち、積極的・定期的に受診している。	53.7%	-
②	悩みや困難を抱えた人を孤立させないため、気になる人を見かけた時に声をかけ、必要時には見守りや相談機関につなげている。	13.3%	-

多様な主体との協創による取組	5年後のまちを実現するにあたっての課題とその解決方法	指標																											
<p>●生駒市がん検診指定医療機関に対し、検診の精度管理の順守確認や精密検査未報告者報告を依頼し報告を受けた。また、子宮頸がん個別検診は、県内の子宮頸がん検診実施21医療機関に対し、次年度個別契約の締結に向けた協力依頼を実施。</p> <p>●歩こう会は、市民団体(生駒市健康づくり推進員連絡協議会、生駒市観光ボランティアガイドの会)の協力により実施。</p> <p>●禁煙イベントや禁煙講演会では、禁煙教室OBやいこま育児ネットの協力を得、望まない受動喫煙の害や新型たばこについて、若い世代へも啓発できた。</p> <p>●受動喫煙防止対策にかかる改正健康増進法の周知は、郡山保健所と連携し、公共施設への説明会や小規模飲食店等の相談対応を実施。</p>	<p>様々な事業を実施しているが、その有効性についての分析が十分になされていない部分もあることから、アンケートやデータに基づく評価や企画、実施が必要。</p> <p>そのため、運動事業(いこマイウォーキング倶楽部等)に関しては、事業評価を人員数のみで判断していたため、アンケートを実施し効果判定を加える予定。</p> <p>その他、リスク要因やデータを活用したターゲットの絞り込みによる教室やリコール(受診再勧奨)を実施予定。</p>	<p>①がん検診精密検査受診率(%)</p> <table border="1"> <tr> <th>年次</th> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>R1</td> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> </tr> <tr> <th>実績値</th> <td>79.0</td> <td>85.6</td> <td>88.4</td> <td>87.1</td> <td>87.8</td> <td>88.5</td> <td>89.3</td> <td>90.0</td> </tr> <tr> <th>目指す値</th> <td></td> <td></td> <td>86.3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	年次	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	実績値	79.0	85.6	88.4	87.1	87.8	88.5	89.3	90.0	目指す値			86.3					
		年次	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5																			
		実績値	79.0	85.6	88.4	87.1	87.8	88.5	89.3	90.0																			
		目指す値			86.3																								
		<table border="1"> <tr> <th>目指す値</th> <th>実績値</th> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>H30</td> </tr> <tr> <td>86.3</td> <td>88.4</td> </tr> </table>	目指す値	実績値	H30	H30	86.3	88.4	<table border="1"> <tr> <th>細分野の進捗度</th> <th>進捗度の理由</th> </tr> <tr> <td>B1</td> <td>指標は、胃内視鏡検診の「判定不能」による精密検査者が減り未受診者が減少したこともあり、精検受診率が向上した。市民一人ひとりが健康に関心を持ち、またこころがけることにつながっていると判断し、進捗度はB1とした。</td> </tr> </table>	細分野の進捗度	進捗度の理由	B1	指標は、胃内視鏡検診の「判定不能」による精密検査者が減り未受診者が減少したこともあり、精検受診率が向上した。市民一人ひとりが健康に関心を持ち、またこころがけることにつながっていると判断し、進捗度はB1とした。																
目指す値	実績値																												
H30	H30																												
86.3	88.4																												
細分野の進捗度	進捗度の理由																												
B1	指標は、胃内視鏡検診の「判定不能」による精密検査者が減り未受診者が減少したこともあり、精検受診率が向上した。市民一人ひとりが健康に関心を持ち、またこころがけることにつながっていると判断し、進捗度はB1とした。																												
<p>課題解決のために必要な要素</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 財源    <input checked="" type="checkbox"/> 人員    <input type="checkbox"/> 組織体制</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> その他 ( データ分析 )</p>																													
多様な主体との協創による取組	5年後のまちを実現するにあたっての課題とその解決方法	指標																											
<p>健康づくりリーダーである市民団体(生駒市健康づくり推進員連絡協議会)の研修として、平成31年3月に策定した自殺対策計画を踏まえ、地域におけるゲートキーパー養成につながる内容での実施を相談し、研修会を実施。</p> <p>自殺予防対策リーフレットに掲載の関係機関・関係各課へ掲載について相談し、窓口設置等の協力を得た。</p>	<p>様々な悩みや生活上の困難を抱える人に対し、早期の「気づき」が重要であることを市民の皆が自覚し、生きやすい社会を実現することで、誰もが自殺に追い込まれることのないよう、市民への啓発周知が必要。</p>	<p>②自殺死亡率(人/10万人)</p> <table border="1"> <tr> <th>年次</th> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>R1</td> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> </tr> <tr> <th>実績値</th> <td>14.1</td> <td>12.4</td> <td>18.3</td> <td>11.8</td> <td>11.5</td> <td>11.1</td> <td>10.7</td> </tr> <tr> <th>目指す値</th> <td></td> <td></td> <td>12.2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	年次	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	実績値	14.1	12.4	18.3	11.8	11.5	11.1	10.7	目指す値			12.2							
		年次	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5																				
		実績値	14.1	12.4	18.3	11.8	11.5	11.1	10.7																				
		目指す値			12.2																								
		<table border="1"> <tr> <th>目指す値</th> <th>実績値</th> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>R1</td> </tr> <tr> <td>12.2</td> <td>18.3</td> </tr> </table>	目指す値	実績値	R1	R1	12.2	18.3	<table border="1"> <tr> <th>細分野の進捗度</th> <th>進捗度の理由</th> </tr> <tr> <td>C1</td> <td>個人の問題だけではなく、社会的な取組が必要なため、全庁的な連携を図っているが、5年後のまちの実現にはもう少し努力が必要と判断し、進捗度はC1とした。</td> </tr> </table>	細分野の進捗度	進捗度の理由	C1	個人の問題だけではなく、社会的な取組が必要なため、全庁的な連携を図っているが、5年後のまちの実現にはもう少し努力が必要と判断し、進捗度はC1とした。																
目指す値	実績値																												
R1	R1																												
12.2	18.3																												
細分野の進捗度	進捗度の理由																												
C1	個人の問題だけではなく、社会的な取組が必要なため、全庁的な連携を図っているが、5年後のまちの実現にはもう少し努力が必要と判断し、進捗度はC1とした。																												
<p>課題解決のために必要な要素</p> <p><input type="checkbox"/> 予算    <input checked="" type="checkbox"/> 人員    <input type="checkbox"/> 組織改編</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 啓発 )</p>																													

A: 5年後のまちをすでに実現している B1: 5年後のまちの実現に向けて順調に進んでいる B2: 5年後のまちの実現に向けて概ね順調に進んでいる  
C1: 5年後のまちの実現にはもう少し努力が必要である C2: 5年後のまちの実現には努力が必要である C3: 5年後のまちの実現には相当努力が必要である

### 総合計画審議会からの「5年後のまち」実現に向けた提言等

- ・若年層の「健康」への関心が低いことが課題だと思われる。各種検診やイベントについて実施日時、実施場所、費用負担等を検討し、若い人が受診、参加しやすい環境づくりに努められたい。
- ・自殺死亡率が増加している。今後、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、健康不安や子どもの鬱、働き盛り世代の失業などによる、更なる自殺死亡率の増加が危惧されるので、早急に対策を講じられたい。

1-1-2 医療

細分野	5年後のまち	5年後のまちの実現に効果のあった取組 (効果のあった取組から順に)	取組による5年後のまちへの効果の内容とその根拠
① 地域医療	①市立病院や地域の医療機関が連携し、救急医療をはじめとする地域医療体制の整備が進んでいる。	①② 救急搬送データをもとに、病病連携の強化をはじめとする救急医療の充実のための取組を進めます。(地域医療課)	市民が安心して暮らせるまちづくりを推進するため、市内等病院間で救急等に関する意見交換会を実施。病院間の連携体制のさらなる強化・充実を図った。
	市民実感度 【市民満足度調査 R2.8月実施】		
	「5年後のまちが実現していると思う」+「どちらかといえば実現していると思う」の割合		
	45.0% (参考) 前回 -%		
細分野	5年後のまち	5年後のまちの実現に効果のあった取組 (効果のあった取組から順に)	取組による5年後のまちへの効果の内容とその根拠
② 在宅医療・医療介護連携	②在宅医療の充実とともに医療機関と介護事業所等との連携によって質の高い医療・介護サービスが包括的に提供される体制が確保されている。	②① 地元医師会をはじめ地域の医療機関や介護事業所との連携・協力のもと、地域の医療介護連携の実態把握や課題の検討、施策の立案を行います。(地域医療課・地域包括ケア推進課・介護保険課・健康課)  ②② 地元医師会をはじめ地域の医療機関や介護事業所との連携・協力のもと、切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築や医療・介護関係者の情報共有の支援、相談支援、関係市町村との連携を推進します。(地域医療課・地域包括ケア推進課・介護保険課・健康課)  ②③ 地元医師会をはじめ地域の医療機関や介護事業所との連携・協力のもと、医療・介護従事者を対象とした多職種連携研修や市民への普及啓発を推進します。(地域医療課・地域包括ケア推進課・介護保険課・健康課)	包括的かつ継続的な在宅医療と介護サービスの提供体制の構築のため、生駒市医療介護連携ネットワーク協議会(1回)・在宅医療介護推進部会(4回)・認知症対策部会(4回)を開催。地域の病院、診療所、介護施設等との連携体制の強化を図ることができた。  医療と介護が連携を図るため、ケアマネジャーや看護師、病院関係者に入退院調整マニュアルの活用を促進。病院から地域へとシームレスな在宅移行ができ、介護が必要な方が、安心して病院への入退院と在宅療養ができる環境づくりに寄与した。  多職種が互いに意見交換を行う機会を通して、顔の見える関係づくりを進めるため、看取りや生駒市の認知症対策、在宅医療介護連携をテーマに意見交換会やグループワークを中心に多職種連携研修を開催した。また、市民への普及啓発として「ACP(アドバンス・ケア・プランニング)」に関心を持ってもらうよう、多職種の方々による寸劇や啓発用ポケットティッシュを配布した。
	市民実感度 【市民満足度調査 R2.8月実施】		
	「5年後のまちが実現していると思う」+「どちらかといえば実現していると思う」の割合		
	36.1% (参考) 前回 -%		
細分野	5年後のまち	5年後のまちの実現に効果のあった取組 (効果のあった取組から順に)	取組による5年後のまちへの効果の内容とその根拠
③ 医療保険制度	③医療費削減に向けた一人ひとりの意識向上のもと、国民健康保険制度が安定的に運営され、誰もが安心して医療を受けている。	③④ 生活習慣病予防のため、生活習慣の改善を目指した取組を行います。(国保医療課・健康課)  ③③ 県と連携を図り、糖尿病の重症化リスクの高い者に対し糖尿病性腎症重症化予防プログラムを実施し、保健指導を行います。(国保医療課)	特定健診の受診率向上に向けて、節目年齢の健診費用助成、未受診者への受診勧奨、休日集団健診等を行った。本取組の実施率向上は一人ひとりの意識向上を意味し将来の医療費増加抑制へとつながっている【R1年実績】35.2%(見込) また、特定保健指導実施率の向上に向けて、保健師・管理栄養士を雇用し、実施体制を強化した。【R1年実績】36.0%(見込)  人工透析移行防止のために、糖尿病の重症化リスクの高い者に対して、予防プログラムを実施することにより医療費の抑制に努めた。【R1年実績】4人(新規2人、継続2人) 透析は一人あたりの医療費が高額となるため、糖尿病を予防することが、国民健康保険制度の安定的な運用につながる。
	市民実感度 【市民満足度調査 R2.8月実施】		
	「5年後のまちが実現していると思う」+「どちらかといえば実現していると思う」の割合		
	54.2% (参考) 前回 -%		

「市民ができること」取組状況		【市民満足度調査 R2.8月実施】	「十分取り組んでいる」+「取り組んでいる」	(参考) 前回
①	地域医療への関心を持ち、適正な受診を心掛けている。		52.7%	-
②	近くの開業医をかかりつけ医に持つなど、緊急時に迅速な対処ができるように備えている。		46.8%	-
③	ジェネリック医薬品の利用、重複受診の見直し等により医療費削減に努めている。		58.6%	-

多様な主体との協創による取組		5年後のまちを実現するにあたっての課題とその解決方法	指標																																		
北和小児科二次輪番体制への参加を目指し、北和地区小児科病院輪番体制参加病院連絡会に出席した。		<p>今後の高齢化の進展に対応するために、市内等病院との意見交換会を定期的開催し、病連携強化に努めるとともに、各医療機関と協力しながら地域医療連携体制の整備を進めていく必要がある。また、小児二次救急医療の充実を図るために、市立病院の北和小児科二次輪番体制への参加に向けて取り組む必要がある。</p> <p>課題解決のために必要な要素</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 財源    <input checked="" type="checkbox"/> 人員    <input type="checkbox"/> 組織体制</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> その他    ( 関係機関との連携強化 )</p>	<p>①市内救急搬送率・小児科患者市内救急搬送率(%)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>全体</th><th>小児科</th></tr> <tr><td>H26</td><td>71.2</td><td>35.6</td></tr> <tr><td>H27</td><td>75.3</td><td>39.6</td></tr> <tr><td>H28</td><td>78.2</td><td>38.4</td></tr> <tr><td>H29</td><td>73.2</td><td>30.2</td></tr> <tr><td>H30</td><td>73.2</td><td>27.3</td></tr> <tr><td>R1</td><td>75.6</td><td>30.0</td></tr> <tr><td>R2</td><td>76.7</td><td>40.0</td></tr> <tr><td>R3</td><td>77.8</td><td>45.0</td></tr> <tr><td>R4</td><td>78.9</td><td>50.0</td></tr> <tr><td>R5</td><td>86.0</td><td>55.0</td></tr> </table>		年度	全体	小児科	H26	71.2	35.6	H27	75.3	39.6	H28	78.2	38.4	H29	73.2	30.2	H30	73.2	27.3	R1	75.6	30.0	R2	76.7	40.0	R3	77.8	45.0	R4	78.9	50.0	R5	86.0	55.0
年度	全体	小児科																																			
H26	71.2	35.6																																			
H27	75.3	39.6																																			
H28	78.2	38.4																																			
H29	73.2	30.2																																			
H30	73.2	27.3																																			
R1	75.6	30.0																																			
R2	76.7	40.0																																			
R3	77.8	45.0																																			
R4	78.9	50.0																																			
R5	86.0	55.0																																			
細分野の進捗度		進捗度選択の理由	目指す値	実績値																																	
C1		市立病院が未だ北和小児科二次輪番体制に入れておらず、本市の小児二次医療は救急を含め市外医療機関に依存しているため。	R1	R1																																	
			全体	小児科																																	
			75.6	35.0																																	
			全体	小児科																																	
			73.3	30.0																																	
多様な主体との協創による取組		5年後のまちを実現するにあたっての課題とその解決方法	指標																																		
介護や医療の魅力を体感できるイベント「ケアリンピック生駒」で地域の医師や介護事業所職員と「ACP(アドバンス・ケア・プランニング)」の寸劇を行った。地域住民が在宅医療や介護について理解を深める機会になった。		<p>地域包括ケアシステムの構築のために、在宅医療の充実とともに医療・介護の連携強化が重要な課題になる。医療ニーズと介護ニーズを併せ持つ高齢者を地域で支えるために、入院時の情報共有、退院支援、日常の療養支援等様々な局面での連携を関係機関と協力しながら進めていく必要がある。</p> <p>課題解決のために必要な要素</p> <p><input type="checkbox"/> 財源    <input type="checkbox"/> 人員    <input type="checkbox"/> 組織体制</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> その他    ( 関係機関との連携強化 )</p>	<p>②入院時情報提供率・退院調整率(%)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>退院調整率</th><th>入院時情報提供率</th></tr> <tr><td>H29</td><td>70.0</td><td>42.0</td></tr> <tr><td>H30</td><td>83.0</td><td>73.8</td></tr> <tr><td>R1</td><td>82.5</td><td>78.1</td></tr> <tr><td>R2</td><td>84.4</td><td>80.0</td></tr> <tr><td>R3</td><td>85.8</td><td>83.0</td></tr> <tr><td>R4</td><td>87.2</td><td>86.0</td></tr> <tr><td>R5</td><td>88.0</td><td>90.0</td></tr> <tr><td>R5</td><td>96.0</td><td>90.0</td></tr> </table>		年度	退院調整率	入院時情報提供率	H29	70.0	42.0	H30	83.0	73.8	R1	82.5	78.1	R2	84.4	80.0	R3	85.8	83.0	R4	87.2	86.0	R5	88.0	90.0	R5	96.0	90.0						
年度	退院調整率	入院時情報提供率																																			
H29	70.0	42.0																																			
H30	83.0	73.8																																			
R1	82.5	78.1																																			
R2	84.4	80.0																																			
R3	85.8	83.0																																			
R4	87.2	86.0																																			
R5	88.0	90.0																																			
R5	96.0	90.0																																			
細分野の進捗度		進捗度選択の理由	目指す値	実績値																																	
B2		生駒市医療介護連携ネットワーク協議会及び在宅医療介護推進部会、認知症対策部会を今後も継続して実施し、地域課題の抽出、課題解決に向けた方法の検討等を図っていく必要があるため。	R1	R1																																	
			入院時情報提供	退院調整率																																	
			77.0	84.4																																	
			入院時情報提供	退院調整率																																	
			78.1	82.5																																	
多様な主体との協創による取組		5年後のまちを実現するにあたっての課題とその解決方法	指標																																		
奈良県国民健康保険団体連合会と連携し、糖尿病性腎症重症化予防や重複服薬対象者への指導を実施した。		<p>生活習慣病予防は、一人ひとりの意識の向上が不可欠であるため、それに向けた中長期的な継続的事業が必要である。</p> <p>特に受診率の低い40歳～64歳の受診率向上を図り、データに基づき予防ができる病気を示すことで、予防への意識向上を進める。</p> <p>課題解決のために必要な要素</p> <p><input type="checkbox"/> 財源    <input checked="" type="checkbox"/> 人員    <input checked="" type="checkbox"/> 組織体制</p> <p><input type="checkbox"/> その他    ( )</p>	<p>③国保被保険者一人当たりの医療費(円)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>医療費</th></tr> <tr><td>H26</td><td>330,018</td></tr> <tr><td>H27</td><td>361,066</td></tr> <tr><td>H28</td><td>364,140</td></tr> <tr><td>H29</td><td>359,784</td></tr> <tr><td>H30</td><td>379,784</td></tr> <tr><td>R1</td><td>379,473</td></tr> <tr><td>R2</td><td>383,146</td></tr> <tr><td>R3</td><td>381,695</td></tr> <tr><td>R4</td><td>404,940</td></tr> <tr><td>R5</td><td>429,601</td></tr> </table>		年度	医療費	H26	330,018	H27	361,066	H28	364,140	H29	359,784	H30	379,784	R1	379,473	R2	383,146	R3	381,695	R4	404,940	R5	429,601											
年度	医療費																																				
H26	330,018																																				
H27	361,066																																				
H28	364,140																																				
H29	359,784																																				
H30	379,784																																				
R1	379,473																																				
R2	383,146																																				
R3	381,695																																				
R4	404,940																																				
R5	429,601																																				
細分野の進捗度		進捗度選択の理由	目指す値	実績値																																	
B2		集団健診等の実施による特定健診受診率の向上や特定保健指導等の実施により生活習慣病予防に取り組んだ。また、糖尿病性腎症重症化予防プログラムを実施することで人工透析患者数の減少につながった。これらの取組により、被保険者一人当たりの医療費は高齢化の進行等により増加しているものの医療費増加の抑制に一定の成果があったものとする。	R1	R1																																	
			381,695	379,473																																	

A:5年後のまちをすでに実現している B1:5年後のまちの実現に向けて順調に進んでいる B2:5年後のまちの実現に向けて概ね順調に進んでいる  
C1:5年後のまちの実現にはもう少し努力が必要である C2:5年後のまちの実現には努力が必要である C3:5年後のまちの実現には相当努力が必要である

総合計画審議会からの5年後のまちの実現に向けた提言等

- ・新型コロナウイルス感染拡大の長期化が危惧される中、適切に医療が提供されるよう、体制を構築されたい。
- ・ケアリンピックは事業者間で情報共有ができ、参加者も介護を身近に感じることができるとも良いイベントだった。継続的な取組を期待する。

1-2-1 高齢者保健福祉・地域福祉

細分野	5年後のまち	5年後のまちの実現に効果のあった取組 (効果のあった取組から順に)	取組による5年後のまちへの効果の内容とその根拠
① 地域包括ケアシステム	① 自助・互助・共助・公助のバランスの取れた包括的な支援・サービスの整備が進んでいる。	①② 自立支援に向けた介護予防・重度化防止を進めます。(地域包括ケア推進課)	(自助に関する取組) これまで要支援者の自立支援として行っていた地域ケア会議を要介護1・2の人を対象に実施した。多職種で課題の明確化・目標設定・支援内容の検討を行い、自立予防・重度化防止に努めた。(開催回数4回)
	市民実感度	①③ 在宅医療・介護連携を推進します。(地域包括ケア推進課・地域医療課・健康課・介護保険課)	(共助に関する取組) 生駒市医療介護連携ネットワーク協議会に新たに市内6病院の院長に参加してもらい、医療機関と介護事業所等のより効果的な連携に努めた。
	「5年後のまちが実現していると思う」+「どちらかといえば実現していると思う」の割合 26.9%	①④ 地域での助け合い・支え合いの仕組みづくりを推進します。(地域包括ケア推進課・高齢施策課・市民活動推進課)	(互助に関する取組) 地域の支え合い活動をつなげ、組み合わせる調整役(第2層生活支援コーディネーター)3名をモデル的に配置し、地域のサロンやいきいき百歳体操の集まりに積極的に参加してもらい、住民の支え合いの組織化推進に向けて意見交換等を行った。
	(参考) 前回 -%		
細分野	5年後のまち	5年後のまちの実現に効果のあった取組 (効果のあった取組から順に)	取組による5年後のまちへの効果の内容とその根拠
② 認知症対策	② 認知症高齢者や家族を支える支援体制が進んでいる。	②① 認知症に関する理解を深めるための普及啓発を充実します。(地域包括ケア推進課)	認知症に関する市民フォーラムの開催や普及啓発ティッシュの作成・配付をとおして、認知症に対する正しい理解促進を図った。
	市民実感度	②③ 多職種連携研修会の開催等、認知症ケアの向上に関する取組を充実します。(地域包括ケア推進課・地域医療課・介護保険課・健康課)	前年度に作成した認知症初期対応事例集を多職種連携研修会を実施して、意見交換を行い、意識を一つにすることで連携強化につとめるとともにケアの向上にもつなげた。
	「5年後のまちが実現していると思う」+「どちらかといえば実現していると思う」の割合 23.6%	②④ 認知症本人や家族に対するケアの充実に向けた取組を強化します。(地域包括ケア推進課・介護保険課)	同じ認知症の人及び家族同士が悩み等を相談できる場として、本人及び家族を招き、市職員や地域包括支援センター職員とのミーティングを実施した。また、認知症になっても住み慣れた地域で暮らしていくことを可能にする認知症対応型共同生活介護(地域密着型サービス)施設の整備を行い、さらなる支援体制強化につなげた。
	(参考) 前回 -%		
細分野	5年後のまち	5年後のまちの実現に効果のあった取組 (効果のあった取組から順に)	取組による5年後のまちへの効果の内容とその根拠
③ 地域福祉活動	③ 地域住民が地域福祉活動に参加しやすい環境が整い、住民同士の支え合いが広がっている。	③① 自治会、老人クラブ連合会、民生委員等と連携強化し、通いの場の拡充を図ります。(高齢施策課・地域包括ケア推進課)	老人クラブ連合会と連携し、地域の支え手を養成する「いこいこサポーター養成講座」を実施し、70名のサポーターを養成した。サポーターが、「通いの場」の設立、運営に携わることで、住民同士の支え合いが広がった。
	市民実感度	③④ 高齢者の閉じこもりや孤立防止等の支援を行います。(高齢施策課・地域包括ケア推進課)	地域のいきいき百歳体操やサロンに第2層の生活支援コーディネーターが積極的に参加し、地域の支え合いの活動の推進や「通いの場」の立ち上げへの支援を行った。
	「5年後のまちが実現していると思う」+「どちらかといえば実現していると思う」の割合 35.7%	③⑤ 高齢者の緊急時の支援対策を行うとともに、緊急時に対応できるよう、地域や関係機関との連携により支援体制の整備を進めます。(高齢施策課)	自然災害が発生した場合に備えて、避難支援を必要とする人(要援護者)に避難支援員を選定することで、地域での助け合いによる支援体制を整備した。また、要援護者と避難支援員が日常的な関わりを持つことで、繋がりが深まっている。
	(参考) 前回 -%		

「市民ができること」取組状況		「十分取り組んでいる」+ 「取り組んでいる」	(参考) 前回
①	高齢者を地域の中で支え合う活動に参加している。 <small>(市民満足度調査 R2.8月実施)</small>	9.8%	-
②	認知症について理解し、地域の中で支え、見守っている。	14.6%	-
③	近所の1人暮らし高齢者を把握し支援している。	11.4%	-



1-3-1 障がい者保健福祉

細分野	5年後のまち	5年後のまちの実現に効果のあった取組 (効果のあった取組から順に)	取組による5年後のまちへの効果の内容とその根拠
① 障がい者理解・権利擁護	①すべての市民が障がいについて理解し、人格と個性を尊重し合いながら、共生する社会づくりが進んでいる。	①1 障がい者に対する市民の理解を深める啓発や交流活動を推進します。(障がい福祉課)	あいサポーター養成講座や精神障がいに関する講演会、勉強会等を実施。公募のあいサポーター養成講座では、当事者からの話に加えて市内事業所の見学も取り入れたことでより具体的に障がい者に対する理解を深めることができた。
	市民実感度	①2 市民自らができることとして、共助の担い手となる地域福祉活動に取り組める体制を整備します。(障がい福祉課)	身体障害者相談員や知的障害者相談員の活動支援の他、精神障がい当事者のピア活動に向けての講座の実施と、ピア活動としてのピアカフェの実施を支援した。
	「5年後のまちが実現していると思う」+「どちらかといえば実現していると思う」の割合 25.6%	①3 権利擁護に関して障がい者や養護者が身近に相談ができる体制の充実を図ります。(障がい福祉課)	権利擁護支援センターにおいて、専門相談窓口への相談件数が前年度より増加しており、地域のネットワークにより相談体制の周知が図られた。
	(参考) 前回 -%		
細分野	5年後のまち	5年後のまちの実現に効果のあった取組 (効果のあった取組から順に)	取組による5年後のまちへの効果の内容とその根拠
② 社会参加・就労支援	②障がい者の生きがいある生活と社会参加が進んでいる。	②1 障がい者の社会参加の機会の充実とともに社会参加に必要な移動支援や情報提供等の充実を図ります。(障がい福祉課)	生きいきクーポンの交付や利用が必要な人への障がい福祉サービスの支給を実施することにより、社会参加に必要な移動支援等につなげることができた。
	市民実感度	②2 障がい者が、その適性と能力に応じて多様な働き方ができるよう、総合的な就労支援に取り組めます。(障がい福祉課・人事課・商工観光課・農林課・みどり公園課)	生駒市役所における職場体験実習受入れ事業実施、山麓公園での就労支援等を通じて多様な働き方を支援することにより、障がい者の社会参加を進めることができた。
	「5年後のまちが実現していると思う」+「どちらかといえば実現していると思う」の割合 25.2%		
	(参考) 前回 -%		
細分野	5年後のまち	5年後のまちの実現に効果のあった取組 (効果のあった取組から順に)	取組による5年後のまちへの効果の内容とその根拠
③ 生活支援	③障がい者が住み慣れた地域の中で、自立して安心した生活ができる取組が進んでいる。	③1 障がい者の自立や生活支援、障がい児の通所支援のサービスの量的・質的な充実を図ります。(障がい福祉課)	相談支援専門員によるサービス等利用計画に基づいて、必要な障がい福祉サービス等を支給することにより、生活支援等を行った。
	市民実感度	③2 相談機能の充実を図るとともに各関係機関が連携した支援体制を整えます。(障がい福祉課)	市内の生活支援センター4ヶ所において基幹相談支援センター等強化学業として、関係機関の連携強化のための会議等を実施した。関係機関の連携を強化することにより、支援体制を充実させることができた。
	「5年後のまちが実現していると思う」+「どちらかといえば実現していると思う」の割合 27.2%	③4 ひとり暮らし障がい者や重度障がい者への地域での生活を支援する拠点として、地域生活支援拠点機能の充実を図ります。(障がい福祉課)	ひとり暮らし体験ができる場所として、身体障害者にも対応できるバリアフリーの体験室「つくさ」を新たに確保した。また、夕方から夜間にかけて登録制で相談できる、安心生活相談事業を開始した。これらにより、障がい者が自立して安心した生活ができるよう努めた。
	(参考) 前回 -%		

「市民ができること」取組状況		「十分取り組んでいる」+「取り組んでいる」	(参考) 前回
①	障がい者や障がい特性について理解している。 【市民満足度調査 R2.8月実施】	19.9%	-
②	障害者就労支援施設における授産品を購入している。	9.0%	-
③	障がい者に対する地域での見守り支援や関係機関への情報提供に協力している。	7.8%	-





1-4-1 防災

細分野	5年後のまち	5年後のまちの実現に効果のあった取組 (効果のあった取組から順に)	取組による5年後のまちへの効果の内容とその根拠
① 災害対策	① 防災・減災のための対策が強化され、平常時から防災を意識できるまちづくりが進んでいる。	①1 災害時に備えて防災拠点施設の役割、場所を周知します。(防災安全課)	指定緊急避難場所・避難所の表示板を更新し、災害種別や役割の表示を加え、大型化することで平常時から避難場所であることの認識を高めた。 設置箇所(北コミュニティセンター、たけまるホール、鹿ノ台小、桜ヶ丘小、大瀬中)
		①4 県と協力して土砂災害対策に取り組みます。(事業計画課・防災安全課)	H30年度の台風・雨のため急傾斜地の崩落を起こした箇所(谷田町)について、対策工事(奈良県実施)を終了した。市は地域住民への危険度の周知と避難の協力を依頼するとともに事業負担金の協力を実施している。
	市民実感度	①5 災害時の緊急車両や救援物資の輸送路として位置づけられている緊急輸送道路上の橋梁について、優先的に耐震化を実施することで、災害時の通行機能を確保します。(土木課・事業計画課)	災害時における緊急輸送道路上の橋梁のうち、架設年次が古く複数径間の橋梁のなかから、井出山2号橋の跨線部の耐震補強工事を完成し、一般部においても着工した。
	「5年後のまちが実現していると思う」+「どちらかといえば実現していると思う」の割合 36.3% (参考) 前回 -%		
細分野	5年後のまち	5年後のまちの実現に効果のあった取組 (効果のあった取組から順に)	取組による5年後のまちへの効果の内容とその根拠
② 自主防災	② 複数の自主防災組織が連携し、地域の特性に応じた災害対応ができています。	②1 地域の特性を踏まえ、避難所・緊急避難場所を中心とした複数の地域が合同で行う訓練を実施します。(防災安全課・市民活動推進課)	学区単位程度の近隣の自主防災会、自治会などが共同で行う防災訓練を共催し、災害発生時の相互協力を実現することを想定した防災訓練を実施した。これにより地域での災害対応が進んだ。 実施箇所(鹿ノ台小学校区(2回)、壱分小学校区(1回)、生駒南第二小学校区(2回))
		②4 世代別や職業等、各種団体のニーズに合わせた研修等を開催します。(防災安全課)	各自主防災会の防災訓練だけでなく、高齢者、妊婦、乳幼児を持つ世帯、女性、幼稚園や保育園の保護者、中学生向けなど市民ニーズに合わせて防災講座を実施した。これにより、幅広い層に対して防災意識を醸成することができた。
	市民実感度	③ 被災からいち早く立ち直ることができる体制を強化し、他地域・団体からの受援体制や他被災地への支援体制が整っている	災害発生時の緊急避難場所を災害種別に応じて開設することができるよう、地域防災計画を見直すため、防災会議の分科会を開催し、テーマを絞った意見聴取を行った。
	「5年後のまちが実現していると思う」+「どちらかといえば実現していると思う」の割合 29.0% (参考) 前回 -%		
細分野	5年後のまち	5年後のまちの実現に効果のあった取組 (効果のあった取組から順に)	取組による5年後のまちへの効果の内容とその根拠
③ 防災体制	③ 被災からいち早く立ち直ることができる体制を強化し、他地域・団体からの受援体制や他被災地への支援体制が整っている	③1 毎年度、生駒市地域防災計画を見直し、さらなる防災・減災対策の推進及び防災会議の充実に努めます。(防災安全課)	奈良県と合同で災害時受援訓練を行い、受援マニュアル作成に役立てると共に本市の災害対応力の向上を図った。
		③2 生駒市地域防災計画に基づき、職員の災害対応能力を向上させ、その維持継続を図ります。(防災安全課)	令和元年度多くの被害をもたらした台風19号の被災地に職員を派遣し、災害復旧支援を行った。(栃木県佐野市2名、長野県佐久市4名) これにより、本市での支援受け入れや災害対応業務の手順を学ぶことにつながった。
	市民実感度	③4 他被災地への支援派遣に備え、人材を育成します。(防災安全課)	
	「5年後のまちが実現していると思う」+「どちらかといえば実現していると思う」の割合 25.9% (参考) 前回 -%		

「市民ができること」取組状況		【市民満足度調査 R2.8月実施】	「十分取り組んでいる」+「取り組んでいる」	(参考) 前回
①	災害時に個人でできる備えを行っている。		27.6%	-
②	地域特性を知り、それに応じて災害時の行動の準備している。		18.7%	-
③	自主防災活動に参加している。		12.1%	-

多様な主体との協創による取組		5年後のまちを実現するにあたっての課題とその解決方法	指標	
避難所表示板の設置場所、方向などは可能な限り地域住民の意見を取り入れ、設置した。また、土砂災害警戒区域の対策工事の実施については奈良県と協力し、実施した。		各避難施設への表示板の設置や、街中に避難誘導のための表示も必要なことから、設置調査から実施までの財源と人材の確保が必須である。また急傾斜地崩壊対策事業や砂防事業について、実施主体は県であるが、市として地元調整や事業負担金は継続して実施していく必要がある。	① 避難所・緊急避難場所等防災関連表示の設置数(箇所)	
		課題解決のために必要な要素		
		<input checked="" type="checkbox"/> 財源 <input checked="" type="checkbox"/> 人員 <input checked="" type="checkbox"/> 組織体制 <input type="checkbox"/> その他 ( )	目指す値	実績値
細分野の進捗度	進捗度選択の理由		R1	R1
B2 →C1	具体的な事業については概ね計画どおり実施することができた。市民が日常的に防災を意識できるようにさらに啓発や周知を行っていく必要がある。		6	9
多様な主体との協創による取組		5年後のまちを実現するにあたっての課題とその解決方法	指標	
地域の自主防災会や自治会で結成される協議会等と協力して防災訓練を計画、実施している。		地域によって防災意識に違いがある。自主防災会役員が単年で交代されるところは活動に継続性がなく、新たな取組を実施していくことが難しいため、組織のやる気を引き出す行政からの誘導とバックアップが必要。そのために職員のスキルがかなり必要となる。	② 学校区程度の単位での防災訓練の実施回数(回)	
		課題解決のために必要な要素		
		<input type="checkbox"/> 財源 <input checked="" type="checkbox"/> 人員 <input type="checkbox"/> 組織体制 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (職員のスキル向上)	目指す値	実績値
細分野の進捗度	進捗度選択の理由		R1	R1
C1	近隣住民との協力体制を構築するために複数の自主防災会の合同訓練や「地区防災計画」の策定は非常に効果的と考えるが、地域差があり、先進的な地域とそれ以外に分かれているという課題があるため。		5	5
多様な主体との協創による取組		5年後のまちを実現するにあたっての課題とその解決方法	指標	
災害時の支援体制や受援についてはあらゆる分野での協力が必要となってくるため、奈良県だけではなく他市町村や関西広域連合等とも連携し訓練などを行っていく。		災害時に本市が行わなければならない業務について自市のみで実施可能か、受援が必要かを見極め滞りなく行えるよう準備が必要。そのために職員は災害時の業務について具体的なイメージを持つことができるよう、訓練や他市町村への支援を行うなど経験不足の解消が必要。	③ 職員を対象とした災害対応研修の実施回数(回)	
		課題解決のために必要な要素		
		<input type="checkbox"/> 財源 <input type="checkbox"/> 人員 <input checked="" type="checkbox"/> 組織体制 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (職員研修の実施)	目指す値	実績値
細分野の進捗度	進捗度選択の理由		R1	R1
C1	防災担当職員だけではなく、他部署の職員も交え、災害警戒本部設置や受援訓練に参加できた事で災害時の業務についてイメージ作りができたが、引き続き、有事に備えて支援体制や受援体制を強化する必要があるため。		3	3

A: 5年後のまちをすでに実現している B1: 5年後のまちの実現に向けて順調に進んでいる B2: 5年後のまちの実現に向けて概ね順調に進んでいる  
 C1: 5年後のまちの実現にはもう少し努力が必要である C2: 5年後のまちの実現には努力が必要である C3: 5年後のまちの実現には相当努力が必要である

総合計画審議会からの5年後のまちの実現に向けた提言等	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害発生の恐れがあるとき、防災無線やHP、ツイッター等で情報発信しているが、まだまだ十分とはいえない。生死に関わることなので、常により効果的な情報発信を検討されたい。</li> <li>・細分野「災害対策」について、表示板の設置にだけでは市民の防災意識が高まったとは言えないので、進捗度はC1が妥当である。</li> <li>・自主防災について、参加者の裾野を広げることや、学校との連携への支援を期待する。</li> </ul>	

1-4-2 消防

細分野	5年後のまち	5年後のまちの実現に効果のあった取組 (効果のあった取組から順に)	取組による5年後のまちへの効果の内容とその根拠
① 予防	①市民に火災予防の意識が浸透し、各自が防火対策を行うことで、より一層安全で安心して暮らせるまちになっている。	①3 防火対象物及び危険物施設等への立入検査を実施し、法令違反については是正指導を強化します。(予防課・消防署)	防火対象物や危険物施設への立入検査を実施した。立入検査において危険物の無許可貯蔵、消防用設備等が未設置や機能不全状態等の法令違反を発見した際には、迅速に法令違反の是正指導を行う体制を整え、違反対象物を減少させている。
		①1 火災件数の減少や火災による死傷者をゼロに近づけるため、火災予防の一層の普及啓発を図ります。(予防課・消防署)	火災予防運動などの広報活動と合わせて、ホームページやSNS、広報紙を活用した啓発を行った。今後も幅広い広報活動を行うことにより、火災の発生要因が複雑多様化する中で火災予防思想の普及を図ることで効果が期待できる。
	市民実感度	①2 市民や事業所の防火意識高揚及び火災の初期対応力の向上を図ります。(予防課・消防署)	市民が参加する各種団体や事業所が行う消防訓練の指導を行った。それぞれの対象者に合わせた訓練指導を繰り返し実施することにより、自主的に訓練を行う事業所等も増加している。訓練により防火の意識が高まることで、火災の減少と火災時の初期対応力の向上が期待できる。
	「5年後のまちが実現していると思う」+「どちらかといえば実現していると思う」の割合 29.5% (参考) 前回 -%		
細分野	5年後のまち	5年後のまちの実現に効果のあった取組 (効果のあった取組から順に)	取組による5年後のまちへの効果の内容とその根拠
② 警防・救助	②消火、救急体制の整備が進み、隣接消防本部との相互応援協定の強化と活動連携が進んでいる。	②1 消防職員の活動能力向上のため、関係機関との各種研修会及び合同訓練への参加を促進します。(消防署)	消防職員の活動能力向上のため、エキスパート研修や勉強会、中隊活動訓練を実施した。また、緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練には、新規に登録した消火小隊を参加させ、市域を隣接する5消防本部とは消防相互応援協定に基づき火災を想定した合同訓練を実施した。警察機関や鉄道事業者とは各種災害を想定した合同訓練を実施することで、迅速な連携を図れるよう体制の強化に取り組んだ。
		②2 消防活動に使用する緊急車両・資器材等の整備及び充実・強化のため、車両等の更新及び維持管理を行います。(警防課・消防署)	空気呼吸器用ポンプの更新を行い、水槽付消防ポンプ自動車の更新事業に着手した。各種災害に対応できるよう装備品や積載品を整備し、消防力の強化に繋げた。
	市民実感度	②7 奈良市・生駒市消防指令センターとの円滑な活動連携並びに出動計画を見直します。(警防課)	消防指令センターと災害対策消防本部が円滑な活動連携を行えるよう協議会等を年6回開催するとともに、はしご付消防ポンプ自動車の出動計画を見直し、より迅速な出動体制とした。
	「5年後のまちが実現していると思う」+「どちらかといえば実現していると思う」の割合 31.9% (参考) 前回 -%		
細分野	5年後のまち	5年後のまちの実現に効果のあった取組 (効果のあった取組から順に)	取組による5年後のまちへの効果の内容とその根拠
③ 救急	③市民が救命講習会を受講して応急手当を理解することにより、救急車の適正な利用が進んでいる。	③2 市民に応急手当の方法を身に付けてもらうために救命講習会を開催します。(消防署)	延べ2,849人に対して救命講習を実施した。講習の中で、心肺蘇生法を習得するとともに、適切な観察や処置を理解してもらうことで、救命率の向上と救急車を適正に利用するための意識の向上を図っている。
		③1 ホームページや広報紙等を利用した救急車の適正な利用の啓発活動を行います。(警防課・消防署)	ホームページやSNS、広報紙等を活用し、救急車の適正利用の啓発を実施した。電話相談窓口「#7119」や救急受診アプリ「Q助」を啓発することにより、不必要な救急車の利用を抑制し、本場に緊急を要する人が救急車を利用できるよう市民の意識の向上を図っている。
	市民実感度		
	「5年後のまちが実現していると思う」+「どちらかといえば実現していると思う」の割合 29.7% (参考) 前回 -%		

「市民ができること」取組状況		【市民満足度調査 R2.8月実施】	「十分取り組んでいる」+「取り組んでいる」	(参考) 前回
①	住宅用火災警報器設置等の自主的な火災予防に取り組んでいる。		44.0%	-
②	大規模災害の発生を見据えた消火・救護・救出の訓練に参加している。		10.0%	-
③	奈良県救急安心センター相談ダイヤル(＃7119)の活用など、救急車の適正な利用に対して理解している。		43.7%	-

多様な主体との協創による取組		5年後のまちを実現するにあたっての課題とその解決方法	指標	
住宅用火災警報器の取換え設置を促進するため、防火・防災機器等を販売する家電量販店及びホームセンターに協力を要請し、販売と合わせた啓発活動を行った。		<p>火災の発生を未然に防止するとともに、万一火災が発生した場合、その被害を最小限にとどめるためには、市民や事業者の防火意識をより一層高める必要がある。今後は、住宅防火の総合的な安全対策の推進と建築物等の防火管理体制の充実や消防法令違反の是正を主眼とした査察体制の維持が必要である。</p> <p>課題解決のために必要な要素</p> <p><input type="checkbox"/> 財源    <input type="checkbox"/> 人員    <input checked="" type="checkbox"/> 組織体制</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> その他 (市民等との協創)</p>	<p>① 年間建物火災発生件数(件)</p>	
細分野の進捗度		進捗度選択の理由	目指す値	実績値
B2		火災に至る人的・物的要因を検証し、市民啓発に活用する情報を収集・整理して市民に伝える必要があるため。	R1	R1
			13	13
多様な主体との協創による取組		5年後のまちを実現するにあたっての課題とその解決方法	指標	
消防団員が地域の自治会や自主防災会の防火・防災訓練に参加し、お互いに顔の見える関係を構築するとともに、消防団活動への関心と理解を深めた。		<p>消防職員の育成、消防力の強化、消防活動の連携について、①知識・技術の向上、②車両等の充実・強化、③府県を越えた相互応援の強化などを推進していく必要がある。今後も、継続して各種研修や合同訓練を実施するとともに市の財政状況を踏まえ、車両更新計画に基づき装備の更新を進める。また、奈良市と共同運用を行っている消防指令センターとは協議会等を通じて更なる連携の強化を図る。</p> <p>課題解決のために必要な要素</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 財源    <input type="checkbox"/> 人員    <input checked="" type="checkbox"/> 組織体制</p> <p><input type="checkbox"/> その他 ( )</p>	<p>② 消防隊現場到着後の年間延焼棟数(棟)</p>	
細分野の進捗度		進捗度選択の理由	目指す値	実績値
B2		消防職員の知識・技術の向上を図るため、各種研修や合同訓練を企画立案し実施するとともに、消防車両の更新計画に基づき更新事業に着手し、消防力の強化を図った。	R1	R1
			0	0
多様な主体との協創による取組		5年後のまちを実現するにあたっての課題とその解決方法	指標	
女性広報指導分団のOGを中心に市民広報活動団体を設立し、11月に開催した消防「フェスタ」では、消防職員と共に多くの市民に対して救急車の適正な利用の必要性を訴えた。		<p>今後もホームページやSNS、広報紙等を利用した啓発を継続し、イベント等では消防職員と市民が一体となって救急車の適正な利用の必要性を訴えることが重要である。また、現在、取組の効果を検証する指標が明確でないため、今後明確にする必要がある。</p> <p>課題解決のために必要な要素</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 財源    <input checked="" type="checkbox"/> 人員    <input checked="" type="checkbox"/> 組織体制</p> <p><input type="checkbox"/> その他 ( )</p>	<p>③ 救命講習会の受講者数(人)</p>	
細分野の進捗度		進捗度選択の理由	目指す値	実績値
B2		消防庁の救急隊緊急度判断に基づき、令和元年中の本市の救急事案を検証した結果、救急搬送の必要性が低いとされる事案は14、7%であったことから、「5年後のまち」の実現に向けて、今後この数値を更に減少させる必要がある。	R1	R1
			2,740	2,849

A: 5年後のまちをすでに実現している B1: 5年後のまちの実現に向けて順調に進んでいる B2: 5年後のまちの実現に向けて概ね順調に進んでいる  
C1: 5年後のまちの実現にはもう少し努力が必要である C2: 5年後のまちの実現には努力が必要である C3: 5年後のまちの実現には相当努力が必要である

総合計画審議会からの5年後のまちの実現に向けた提言等	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・火災予防や救急車の適正利用に関する広報は、できるだけ多くの人の手によって広く効果的に行われたい。</li> <li>・市民との協働による「火災予防」を進められたい。</li> </ul>	

1-5-1 生活安全

細分野	5年後のまち	5年後のまちの実現に効果のあった取組 (効果のあった取組から順に)	取組による5年後のまちへの効果の内容とその根拠
① 交通安全	①交通ルールや交通マナーを守る意識が高まり、だれでも安全でかつ安心して外出や移動ができています。	①② 高齢者や幼・保育園児、小・中・高校生を対象として、交通指導員による交通安全教室を実施します。(防災安全課)	市内の幼稚園、保育園、小学校、中学校、高齢者のつどい等において、交通安全教室を実施した。(R1実施回数 53回(参加人数 延べ5,112人)) 交通安全教室で交通ルール等を改めて学ぶことで規範意識が高まり、交通事故発生件数の減少につながったものと考えている。
		①④ 関係機関と連携し通学路の合同点検を実施します。(教育総務課・防災安全課・管理課・事業計画課・土木課)	令和元年度においても、通学路の合同調査、点検を実施し、その結果について、市ホームページにて小学校ごとに対策箇所、内容を公表した。(対策工事の進捗状況は適宜更新) 市以外の関係機関による対応も含め、必要な対策を講ずることで、通学路における危険箇所の減少につなげた。
	市民実感度	①⑤ 警察等関係機関と連携し、違法駐車等防止重点地域(生駒駅・東生駒駅周辺)において、交通指導員による違法駐車等の巡回・防止啓発活動を行うとともに、市営駐車場の利用促進を図ります。(防災安全課)	交通指導員による定期的な巡回・啓発を実施し、違法駐車台数の減少(H30 7,034台→R1 4,080台)につなげることができた。 また、市営駐車場における30分間までの利用を無料とする取組の継続実施により利用促進を図り、利用台数が約30~50%増(対5年前比)となっていることから、一定程度違法駐車台数の減少にも寄与していると考えている。
	「5年後のまちが実現していると思う」+「どちらかといえば実現していると思う」の割合 32.6% (参考) 前回 -%		
細分野	5年後のまち	5年後のまちの実現に効果のあった取組 (効果のあった取組から順に)	取組による5年後のまちへの効果の内容とその根拠
② 防犯	②地域の安全は地域で守るという市民一人ひとりの意識が高まり、安全で住み良い地域社会が広がっている。	②③ 出前防犯教室を開催し、意識啓発や情報提供を行います。(防災安全課)	幼稚園、保育園、小学校、中学校の園児、児童・生徒、保護者、職員を対象とした出前防犯教室を実施した。(R1実施回数 54回(参加人数 7,913人)) 不審者の侵入や未成年者等の誘拐を未然に防止すべく、園児や児童・生徒に理解できる催物を企画・運営し、たとえ未成年でも市民の一員として防犯に対する意識の向上に努めた。
		②① 地域による防犯パトロール等の防犯活動を促進支援します。(防災安全課)	防犯活動用品、「こども110番の家」の旗の貸出し等による啓発を実施した。(R1防犯活動用品の貸出件数 251件、旗の貸出軒数 1,543軒) 市民による自主的な防犯活動を普及させていくことで、安全・安心なまちづくりの推進に努めた。
	市民実感度	②⑤ 特殊詐欺等による被害防止に取り組めます。(防災安全課)	特殊詐欺防止装置購入補助として、補助金を交付した。(R1交付人数 30人) ここ数年、特殊詐欺の手口が多種多様化しており、令和元年度は特殊詐欺犯罪の認知件数も前年度から倍増した。発生件数の推移を見つつ、詐欺被害を未然に防止するため、関係機関と連携して引き続き注意を喚起していく。
	「5年後のまちが実現していると思う」+「どちらかといえば実現していると思う」の割合 34.2% (参考) 前回 -%		
細分野	5年後のまち	5年後のまちの実現に効果のあった取組 (効果のあった取組から順に)	取組による5年後のまちへの効果の内容とその根拠
③ 消費者保護	③市民の消費生活に関する意識・知識が高まり、消費者トラブルにも適切に対応できている。	③② ホームページの充実等、消費者トラブルに関する情報を積極的に提供します。(消費生活センター)	消費者トラブルを未然に防止するため、広報紙及びHPに身近な消費者問題に関するQ&Aを掲載した。身近な事例の情報を共有することにより、トラブルを自分事として捉えてもらうことができ消費生活に関する意識の向上に繋がった。
		③④ 自治会等の団体や学校と連携を図り、出前講座等による啓発と消費者教育に取り組めます。(消費生活センター)	自治会、老人会等において、最近の被害の手口等さまざまなテーマで講座を開催し、消費者教育に取り組んだ。(R1:16回開催、延べ412人参加)参加者からは好評を得ており、意識や知識の向上に寄与した。
	市民実感度	③③ 消費者保護条例に基づき、市民の意見等を反映した消費者施策を国・県等関係機関と連携を図りながら実施します。(消費生活センター)	市民公募委員2名を含む「生駒市消費生活審議会」を開催し、消費者行政、消費者問題等に関するテーマにおいて情報共有を行った。また、相談業務において、判断・対応が困難な事例については、国・県等関係機関との協力体制により、早期解決を図るなど、トラブルに適切に対応した。(R1:相談件数延べ1,317件)
	「5年後のまちが実現していると思う」+「どちらかといえば実現していると思う」の割合 28.4% (参考) 前回 -%		

「市民ができること」取組状況		【市民満足度調査 R2.8月実施】	「十分取り組んでいる」+「取り組んでいる」	(参考) 前回
①	地域での登下校時の交通安全活動に参加している。		8.5%	-
②	児童の見守り活動や地域のパトロール等に参加している。		10.0%	-
③	消費生活に関する知識や情報を取得し、消費者トラブルに巻き込まれないよう心掛けている。		56.8%	-



2-1-1 母子保健

細分野	5年後のまち	5年後のまちの実現に効果のあった取組 (効果のあった取組から順に)	取組による5年後のまちへの効果の内容とその根拠
① 産前産後	①パートナーや家族の妊娠・出産・子育てに対する理解が広がり、安心して妊娠・出産・子育てにのぞめる妊婦とパートナー、その家族が増えている。	①5 産後の心身の安定と育児不安を解消し、安心して産み育てられる環境を整えます。(健康課)	平成28年度から産後ケア事業を開始しており、開始当初利用者は1件であったが、利用者は年々増加している(R1年度は10件)。令和元年度は年々増加する利用希望者がスムーズに利用できるべく受託先を増やすための準備をすすめた。結果、1つであった受託先が3つに増え、産後ケア事業利用希望者に柔軟に対応できる体制づくりを整えた。
		①2 母子健康手帳発行時、マタニティコンシェルジュによりすべての妊婦に対して、不安や心配事等の聞き取りをするなど丁寧な保健指導を行うとともに、父親や祖父母の母親に対する精神的支援や理解の必要性を啓発します。(健康課)	妊娠届出者に対して、マタニティコンシェルジュ(助産師、保健師等の専門職)が全数面接を実施している。そのなかで本市の母子保健事業や地域のサービス等、妊娠・出産・子育てに関わる各種制度の説明や保健指導を丁寧に行い、安心して出産に望めるよう支援している。
	市民実感度		
	「5年後のまちが実現していると思う」+「どちらかといえば実現していると思う」の割合		
	35.9%	(参考) 前回 -%	
細分野	5年後のまち	5年後のまちの実現に効果のあった取組 (効果のあった取組から順に)	取組による5年後のまちへの効果の内容とその根拠
② 育児	②保護者が精神的に安心して子育てができ、子どもがより一層健康で、すくすくと育っている。	②1 産婦・新生児や乳児の訪問を実施します。(健康課)	訪問を委託していた奈良県助産師会との契約を解消し、直営での実施に向けて準備を進めた。直営になることで、安定した訪問数を確保することができ、今までよりも早い月齢での訪問が可能になる。早期に支援をスタートすることで、保護者が安心して子育てできる環境を整えた。
		②5 疾病予防のため、予防接種を実施します。(健康課)	骨髄移植等により一度定期予防接種で獲得した免疫を失った方々への予防接種再接種費用補助制度を開始した(R1:3件)。また、風疹の免疫を持っている可能性が低い世代への風疹の追加対策を実施し、風疹の抗体保有率の向上に努めた。このふたつの制度により、経済的負担の軽減を図り、疾病の発生及び蔓延を予防することができた。
		②4 疾病の早期発見・早期治療、障がいの早期発見及び育児支援等を行うため、乳幼児健康診査を実施し、健診の事後フォローを行います。(健康課)	毎月すべての健診において未受診者を抽出し、受診期間がまだある方には受診勧奨し、最終的な未受診者には必ず現認確認を行った。
	市民実感度		
	「5年後のまちが実現していると思う」+「どちらかといえば実現していると思う」の割合		
	43.1%	(参考) 前回 -%	

「市民ができること」取組状況		【市民満足度調査 R2.8月実施】	「十分取り組んでいる」+ 「取り組んでいる」	(参考) 前回
①	妊娠・出産・子育てに関心を持っている。		21.5%	-
②	保護者が地域で安心して子育てできるようにサポートしている。		6.5%	-



多様な主体との協創による取組		5年後のまちを実現するにあたっての課題	指標	
産後ケア事業の受託先拡大に向けて、すでに多くの受託先をもつ他市町村の情報収集を行った。近隣他市町村が持つノウハウを参考に、受託先を広げる参考とした。		「パパママ教室参加率」向上のために、有職妊婦も増える中で、開催曜日や実施回数(3回コース)の見直しなど妊婦やパートナーが参加しやすい教室運営が課題である。ただ一方で、産科医療機関で受講している人も多いことから、妊婦のニーズを把握し、市だからこそできる内容の検討も必要である。	① パパママ教室参加率(%)	
		課題解決のために必要な要素	目指す値	実績値
		<input type="checkbox"/> 財源 <input checked="" type="checkbox"/> 人員 <input checked="" type="checkbox"/> 組織体制 <input checked="" type="checkbox"/> その他    ( 関係機関や多職種との連携 )	R1	R1
			38.5	32.6
細分野の進捗度	進捗度選択の理由			
B2	マタニティコンシェルジュが妊娠届出時に妊婦の面接を行い、妊娠中に支援が必要な妊婦には適時連絡を取って地区担当保健師と連携しながら支援を行った。産後ケア事業についても、受託先を3つに増やすことで年々増える利用希望者に柔軟に対応できるよう制度を整えた。そのことが安心して妊娠・出産・子育てにのぞむ妊婦が増えていると判断し、進捗度はB2とした。			
多様な主体との協創による取組		5年後のまちを実現するにあたっての課題	指標	
骨髄移植等による任意予防接種費用補助制度をつくるにあたり、先駆的な取組を進めている自治体(大阪府枚方市他8市町村)にヒアリングを実施した。		乳幼児健診については、実施する医療機関と連携を取りながら実施している。健診は、疾病の早期発見・早期治療、障害の早期発見及び育児支援等を行うために必要なものであるが、健診未受診者は少なからずいる。未受診者に対しては現認し、状況把握に努めているが、未受診者に対して健診の必要性を伝え、少しでも減少させることが課題である。	② 新生児・乳児訪問の実施率(%)	
		課題解決のために必要な要素	目指す値	実績値
		<input type="checkbox"/> 財源 <input checked="" type="checkbox"/> 人員 <input checked="" type="checkbox"/> 組織体制 <input checked="" type="checkbox"/> その他    ( 関係機関との連携 )	R1	R1
			99.1	99.2
細分野の進捗度	進捗度選択の理由			
B2	産婦・新生児や乳児の訪問を直営に変え、安定した訪問数を確保し、早い月齢での訪問を実施すべく制度を整えた。また、骨髄移植等により一度定期予防接種で獲得した免疫を失った子どもたちが再度予防接種を実施した費用を補助する制度と風疹の免疫を持っている可能性が低い世代への風疹の追加的対策を整えた。そのことで、保護者が精神的に安心して子育てができ、子どもがより一層健康で、すくすくと育つための支援に繋がっていると判断し、B2とした。			
			② 乳幼児健診受診率(%)	
			目指す値	実績値
			R1	R1(暫定値)
			96.2	94.0

A: 5年後のまちをすでに実現している B1: 5年後のまちの実現に向けて順調に進んでいる B2: 5年後のまちの実現に向けて概ね順調に進んでいる  
C1: 5年後のまちの実現にはもう少し努力が必要である C2: 5年後のまちの実現には努力が必要である C3: 5年後のまちの実現には相当努力が必要である

総合計画審議会からの5年後のまちの実現に向けた提言等	
核家族化の進行や地域との繋がりの希薄化によって、手助けやアドバイスがない中での子育てになっている。当事者の意識改革も必要であるが、地域で助け合える仕組みづくりに取り組まれない。	

2-1-2 子ども・子育て支援

細分野	5年後のまち	5年後のまちの実現に効果のあった取組 (効果のあった取組から順に)	取組による5年後のまちへの効果の内容とその根拠
① 保育	①子どもの安全が確保され、子育てと仕事を両立させたい家庭やひとり親家庭が安心して就労できる環境が整えられている。	①1 待機児童解消に向けて、保育所の開設や保育士の確保に取り組みます。(こども課)	中保育園給食室の保育室への改修や、H31年4月の「きたやまと保育園」の開園により定員増を図り、待機児童解消に努めた。R2年度の「わらべ学園」開園に向けて、補助金交付など支援を行った。また、「資格をいかそう！相談会」や「保育園・こども園見学ツアー」を実施し、潜在保育士の発掘に取り組むなど、多方面から待機児童減少に取り組んだ。(R2.4.1待機児童数(実質待機):65人)
		①2 保護者のニーズに合わせた保育事業を継続するとともに、保育サービスのさらなる充実に取り組みます。(こども課)	公立保育所4園、私立保育所等22園のうち、全園で延長保育、私立9園で一時預かり保育、私立1園で休日保育、私立1園で病後児保育を実施した。また、病児保育を2か所で実施し、保育者のニーズに合わせた保育サービスの充実にも努めた。
	市民実感度	①6 子どもたちが地域の中で、安心して遊び、大人たちと交流できる場・機会を提供します。(こども課)	国が創設した放課後子どもプランの一つとして「放課後子ども教室推進事業」を実施し、放課後子ども教室を市内4小学校で開催した。これにより放課後の子どもたちが、地域の人と交流しながら、安全・安心して活動できる拠点(居場所)をつくることのできた。
	「5年後のまちが実現していると思う」+「どちらかといえば実現していると思う」の割合 38.2% (参考) 前回 -%		
細分野	5年後のまち	5年後のまちの実現に効果のあった取組 (効果のあった取組から順に)	取組による5年後のまちへの効果の内容とその根拠
② 就学前教育	②就学前教育の充実と幼稚園の長時間預かり又はこども園化が進んでいる。	②1 多様化する保護者ニーズに応えるため、預かり保育の長時間化、実施日の拡大について検討します。(こども課)	南こども園と認定こども園生駒幼稚園において、1号認定児の早朝・延長預かり保育を実施した。また、その他の園での実施日拡大に向けて、10月から桜ヶ丘幼稚園で、17時までの延長と水曜日のモデル事業を実施し、その結果を検証するなどサービス拡大に向けて取り組んだ。
		②2 地域での幼稚園ニーズや園児数の推移等を勘案しながら、こども園化を含め、地域に合った幼稚園の今後のあり方を検討します。(こども課)	生駒市学校教育のあり方検討委員会において、こども園化を含めた今後の市立幼稚園のあり方を検討し、令和2年2月に答申を受けた。これを受けて、今後、幼稚園のこども園化を含めた施設規模の適正化について検討する。
	市民実感度	②3 就学前教育の充実を図るため、幼稚園と地域、保育所、認定こども園及び学校との交流、連携を図ります。(こども課・教育指導課)	保幼小接続推進会議を年間3回開催し、年間を通じて交流を行った。また、年度末には校区ごとの取組を成果報告集としてまとめ、各校園に配布するなど、就学前教育の充実を図った。
	「5年後のまちが実現していると思う」+「どちらかといえば実現していると思う」の割合 34.7% (参考) 前回 -%		
細分野	5年後のまち	5年後のまちの実現に効果のあった取組 (効果のあった取組から順に)	取組による5年後のまちへの効果の内容とその根拠
③ 子育て支援	③地域や社会が保護者に寄り添い、親の成長を支援することにより、子どものより良い育ちを実現している。	③1 子どもたちが安心して成長できるよう、地域子育て支援拠点事業及びファミリーサポート事業等を一体的に提供することで、子育て支援体制を充実します。(子育て支援総合センター)	乳幼児のいる保護者同士の交流や子育て相談の場を提供し、親の成長を支援することができた。ファミリーサポート事業においては、利用促進の他各種講座を開催し、会員や子育て支援人材の確保に努めた。また、R2.3月に支援会員から援助会員への転換制度を導入し、援助会員の増加に努めた。
		③2 子育てや家庭で心配なこと等の相談事業を実施し、子育て世帯を支援します。(こどもサポートセンター)	18歳未満の児童についての育児や家庭のさまざまな心配ごとの相談を来所や電話で対応し、家庭相談員が子育て親子へ寄り添った(相談の件数:3,039件、相談ダイヤルでの相談件数:38件)。また、養育支援が特に必要と判断した33家庭に、延べ198回の訪問支援を行い、サポートに努めた。
	市民実感度	③3 世代間交流を含め、子育てサロン等、地域で子育てを支え合う取組や活動を支援します。(子育て支援総合センター)	子育てサークル等の育成・交流支援のため、出前保育7件・どこでも講座1件を実施した。また、本市の子育て支援に関する情報の提供や託児を行う他、活動場所の提供、各サークルの情報発信の支援を行うことで、世代を超えて地域で子育てを支え合う取組をサポートした。
	「5年後のまちが実現していると思う」+「どちらかといえば実現していると思う」の割合 34.9% (参考) 前回 -%		

「市民ができること」取組状況		「十分取り組んでいる」+ 「取り組んでいる」	(参考) 前回
①	子どもたちの見守り活動に参加している。 【市民満足度調査 R2.8月実施】	14.6%	-
②	園児とのふれあい活動に参加している。	8.4%	-
③	子育て支援に関するボランティアやサポート活動を行っている。	5.5%	-



2-2-1 学校教育

細分野	5年後のまち	5年後のまちの実現に効果のあった取組 (効果のあった取組から順に)	取組による5年後のまちへの効果の内容とその根拠
① 学校教育	① 児童生徒一人ひとりの確かな学力を育成するために、社会総がかりで多角的な教育活動が進んでいる。	①③ ICT機器を活用し様々な教育効果の向上を図り、児童生徒が主体的・協働的に学習できる環境づくりを進めます。(教育総務課・教育指導課)	H30年度に設置した大型ディスプレイを有効活用できる授業を実施するとともに、GIGAスクール構想に基づく、校内LAN及び児童生徒1人1台端末の整備に向けて予算措置等を進めた。今後も、ICT機器を効果的に活用することで教員の業務を効率化し、児童生徒と向き合う時間を増やし主体的・対話的で深い学びを進める。
		①② 小学校外国語活動について、小学校1年生から独自の教材を使用し、外国語指導助手を活用し英語教育を推進します。(教育指導課)	R2年度施行の学習指導要領を見据え、英語活動の指導力向上や小学生から中学生までスムーズに接続できるような9年間の英語教育のカリキュラムについて検討した。ALTや、英語に堪能な地域人材(わくわくイングリッシュサポーター)を配置することで、地域のカも活用した多角的な教育活動を進めた。
	市民実感度	①④ すべての生命を尊重し、自己有用感と相互理解を高めるための心の教育を充実します。(教育指導課)	学校創造推進事業や命の大切さを学ばせる体験事業で、児童生徒がその道の達人と呼ばれる地域の方や、様々な体験をしている高齢者等と接することにより、自己有用感や自他の生命を尊重することを学んだ。
	「5年後のまちが実現していると思う」+「どちらかといえば実現していると思う」の割合 33.6% (参考) 前回 -%		
細分野	5年後のまち	5年後のまちの実現に効果のあった取組 (効果のあった取組から順に)	取組による5年後のまちへの効果の内容とその根拠
② 特別支援教育	② 特別な支援を要する幼児、児童、生徒、保護者への通級指導等や教育相談が効果的に行われ、個に応じた支援や教育が定着している。	②① 特別支援教育支援員を市民から募集し、適切に配置します。(教育指導課)	通常学級に在籍する発達障害のある子どもへのサポートを行うため、就学指導委員会専門部会の調査・判断により、各学校への支援員を各校週6日相当(1.2人/日)配置し、個に応じた支援を行った。
		②⑤ 子どもたちの支援内容等を工夫検討するとともに、情報提供を行います。(教育指導課)	特別支援学級の学習支援、機能回復のためにタブレット端末を配備し、視覚や聴覚等を刺激する取組を行うなど効果的に活用した。学習障害(LD)や注意欠陥多動性障害(ADHD)等、発達障害のある児童生徒が、通級指導教室(ことばの教室、エル)に通うことにより、特別の教育課程のもと個々の教育ニーズに対応した教育支援を行った。R1年度通級者数193名。
	市民実感度	②③ 特別支援教育相談に対し、様々な見地から相談対応ができるようにスクールカウンセラー等各種相談員を適切に配置します。(教育指導課)	市内小中学校の特別支援学級の児童生徒や、通常学級に在籍し特別な支援を必要とする児童生徒及びその保護者・教師に対する教育相談を専門的知識を有する者で相談を受けた。R1年度相談件数88件。
	「5年後のまちが実現していると思う」+「どちらかといえば実現していると思う」の割合 25.1% (参考) 前回 -%		
細分野	5年後のまち	5年後のまちの実現に効果のあった取組 (効果のあった取組から順に)	取組による5年後のまちへの効果の内容とその根拠
③ 学校施設	③ 子どもたちが安心して、笑顔で過ごすことができる教育環境が整っている。	③② 学校施設を使いやすく(バリアフリー化を含む)、きれいで快適なものにします。(教育総務課)	市立幼稚園、小・中学校空調整備事業と中学校トイレ改修工事を実施した。児童生徒が意欲を持って学ぶことができる快適な学習環境の整備により、熱中症予防などの健康面と衛生面への配慮が可能になった。
		③④ 学校給食センターの整備運営事業を推進します。(学校給食センター)	PFI事業により、生駒北学校給食センターが6月に完成し、9月から小学校給食及びアレルギー対応食の提供を開始した。(学校給食センター)
	市民実感度	③③ 今後の児童・生徒数を踏まえた学校規模・通学区域等を検討します。(教育総務課・教育指導課)	生駒市学校教育のあり方検討委員会から、児童生徒数の減少や学校施設の老朽化、小中一貫教育の推進などを踏まえた今後の学校教育のあり方について、答申を受けた。今後は答申をもとに子どもたちの教育の充実に向けて、保護者、地域住民との協議を行いつつ、取組を進めていく。
	「5年後のまちが実現していると思う」+「どちらかといえば実現していると思う」の割合 43.7% (参考) 前回 -%		

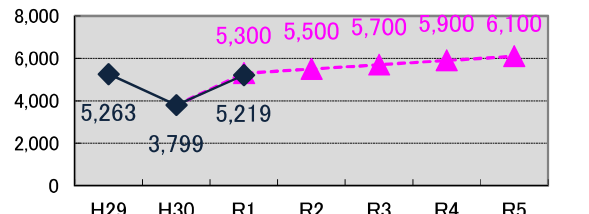
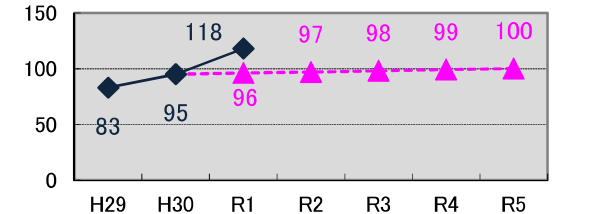
「市民ができること」取組状況		【市民満足度調査 R2.8月実施】	「十分取り組んでいる」+ 「取り組んでいる」	(参考) 前回
①	学校行事や地域行事等に参加し、子どもたちと関わりを持っている。		18.8%	-
②	特別支援教育を理解し、その教育に協力している。		5.3%	-
③	学校施設における改善点等を提案している。		4.2%	-



2-2-2 青少年

細分野	5年後のまち	5年後のまちの実現に効果のあった取組 (効果のあった取組から順に)		取組による5年後のまちへの効果の内容とその根拠	
① 健全育成	① 地域、学校、家庭が連携し、地域力を活用した支援により、子どもや若者が生き生きと過ごし、健やかに成長する環境が整っている。	①③	青少年が健やかに成長し生きる力を身につけるため、各種団体等と連携し、様々な学びと体験の場の提供等を行います。(生涯学習課)	<p>市子連などの地域団体や奈良高専、山麓公園指定管理者と連携しながら、青少年向けの様々な学びや体験の機会を提供した。とりわけ、令和元年度は市内小中学校全教室へのエアコン設置により「IKOMAサマーセミナー」などのイベントを市内小学校で開催することで、学校施設を活用した新たな事業の展開を図ることができた。</p>	
			①⑤		<p>家庭の教育の向上、保護者への学習の浸透、拡大を図るため、地域の力を活用した家庭教育支援を充実します。(生涯学習課)</p>
	市民実感度		①①	<p>市青少年指導委員と連携し、街頭巡回指導による青少年の見守りや非行防止の取組を進めます。(生涯学習課)</p>	<p>各学校やPTA、自治会など各種団体から推薦を受けた市民を青少年指導委員として委嘱し、市内全中学校区において青少年の非行防止や安全確保などを目的とした巡回指導を年間216回実施し延べ1,079人が参加するなど、地域の青少年を見守る取組を進められた。</p>
	「5年後のまちが実現していると思う」+「どちらかといえば実現していると思う」の割合	36.6%			
細分野	5年後のまち	5年後のまちの実現に効果のあった取組 (効果のあった取組から順に)		取組による5年後のまちへの効果の内容とその根拠	
② 自立支援	② すべての子ども・若者が安心して成長できる機会が確保され、自立した社会生活を送っている。	②①	不登校、ニート、ひきこもり等に関する相談窓口の体制を整備し、相談できる環境を充実させ、地域と連携した支援を行います。(生涯学習課)	<p>生駒市子ども・若者総合相談窓口「ユースネットいこま」を教育支援施設内に設置、運営を行い相談対応を行っている。同窓口については不登校等が増える時期に市内全自治会掲示板へのポスター掲示や、広報紙での特集記事掲載などにより周知を図ったこともあり、令和元年度の相談件数が1,018件(実相談者数118人)となり、多くの不登校・ニート・ひきこもり当事者や家族を支援できた。</p>	
			②②		<p>「生駒市子ども・若者支援ネットワーク」参加機関との連携により、不登校、ニート、ひきこもり等困難を抱える子ども・若者の自立に向けた支援に取り組みます。(生涯学習課)</p>
	市民実感度		②①	<p>「生駒市子ども・若者支援ネットワーク」参加機関との連携により、不登校、ニート、ひきこもり等困難を抱える子ども・若者の自立に向けた支援に取り組みます。(生涯学習課)</p>	<p>市内で子ども・若者支援に携わる官民あわせて38の関係機関が参加する「生駒市子ども・若者支援ネットワーク」について、関係機関同士の情報共有のための会議を定期的に開催するほか、個別ケースの支援についても必要に応じて関係機関とユースネットいこまで連絡・調整を行い総合的な支援につなげた。</p>
	「5年後のまちが実現していると思う」+「どちらかといえば実現していると思う」の割合	25.6%			

「市民ができること」取組状況		「十分取り組んでいる」+「取り組んでいる」	(参考) 前回
【市民満足度調査 R2.8月実施】			
①	地域の子どもの安全と成長を見守り、青少年の健全育成活動に参加している。	9.4%	-
②	不登校やニート、ひきこもり等の当事者及び家族に、行政の支援窓口等の情報を提供している。	2.5%	-

多様な主体との協創による取組	5年後のまちを実現するにあたっての課題とその解決方法	指標										
<p>・市内全中学校区に設置されている青少年指導委員会と連携し、地域の登下校路・店舗・祭り会場等の巡回指導や学校と連携した研修等の実施を通じて、各中学校区地域において青少年を見守る体制を構築・維持した。</p> <p>また、県庁・県教委・県警と連携して「県青少年健全育成条例」に基づく市内店舗の巡回指導を行うなど、青少年の健全な育成を図る環境づくりに努めた。</p>	<p>これまで様々な学びや体験の機会を提供している団体の一部はメンバーの高齢化や担い手不足という問題を抱えており、またその事業の実施内容についても現在の青少年や保護者のニーズに対応しきれていないという課題がある。また、事業内容によっては本市が関与し続ける必要性に乏しいものもあり、今後のまちの目指す姿に沿った事業の見直しや再構築を進めていく必要がある。</p> <p>青少年指導の取組については、スマートフォン等の普及など青少年を取り巻く環境が大きく変わっていることから、これらの状況やニーズに合わせて取組内容を見直す必要がある。</p>	<p>① 青少年健全育成事業参加人数(人)</p>  <table border="1" data-bbox="885 627 1476 784"> <thead> <tr> <th>目指す値</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>R1</td> </tr> <tr> <td>5,300</td> <td>5,219</td> </tr> </tbody> </table> <p>細分野の進捗度</p> <table border="1" data-bbox="885 795 1476 1008"> <thead> <tr> <th>進捗度</th> <th>進捗度選択の理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>B2</td> <td>市民同士のつながりの中でIKOMAサマーセミナーや家庭教育支援チームなどの新たな事業や取組が進められているなど、青少年の健全な育成に向けた市民同士の連携が進んでいると考えるため。</td> </tr> </tbody> </table>	目指す値	実績値	R1	R1	5,300	5,219	進捗度	進捗度選択の理由	B2	市民同士のつながりの中でIKOMAサマーセミナーや家庭教育支援チームなどの新たな事業や取組が進められているなど、青少年の健全な育成に向けた市民同士の連携が進んでいると考えるため。
目指す値	実績値											
R1	R1											
5,300	5,219											
進捗度	進捗度選択の理由											
B2	市民同士のつながりの中でIKOMAサマーセミナーや家庭教育支援チームなどの新たな事業や取組が進められているなど、青少年の健全な育成に向けた市民同士の連携が進んでいると考えるため。											
<p>・ユースネットいこまにおいて、市民やボランティア団体と連携して、当事者や家族が気軽に集まり楽しむ場とした「居場所」イベントを週替わりで日曜日に開催した。(令和元年度で計45回開催)</p> <p>・「生駒市子ども・若者支援ネットワーク」において、関係機関や事業所と連携しながら、生きづらさや困難を抱える子どもや若者への支援を行った。</p>	<p>「ユースネットいこま」は年々相談者が増加しているものの、市内にはまだ、ひきこもりや不登校などの悩みを抱えながらも必要な支援につながれず地域で孤立する当事者・家族はまだ多いと考えられ、地域や学校と連携して継続的に掘り起こしを行う必要がある。また、相談者増に対応できる相談体制の拡充も必要である。</p> <p>さらに、自立した社会生活のためには、自らの特性等も踏まえた就労等の進路選択・決定が不可欠となるが、現状では進路決定に至る者がまだ少ない。社会での他者との関わりの経験も浅い者が多いため、今後は就労体験以外に地域での市民活動やボランティアなどの体験の場を増やすことで、当事者の経験値を高め自立につなげていきたい。</p>	<p>② ユースネットいこま相談者数(人)</p>  <table border="1" data-bbox="885 1377 1476 1534"> <thead> <tr> <th>目指す値</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>R1</td> </tr> <tr> <td>96</td> <td>118</td> </tr> </tbody> </table> <p>細分野の進捗度</p> <table border="1" data-bbox="885 1545 1476 1758"> <thead> <tr> <th>進捗度</th> <th>進捗度選択の理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>B2</td> <td>ユースネットいこまの相談者数も目標値を超えるなど相談支援窓口としての認知度は上がってきており、様々な困難を抱える子ども・若者を支援する仕組みが機能しつつあると考えられるため。</td> </tr> </tbody> </table>	目指す値	実績値	R1	R1	96	118	進捗度	進捗度選択の理由	B2	ユースネットいこまの相談者数も目標値を超えるなど相談支援窓口としての認知度は上がってきており、様々な困難を抱える子ども・若者を支援する仕組みが機能しつつあると考えられるため。
目指す値	実績値											
R1	R1											
96	118											
進捗度	進捗度選択の理由											
B2	ユースネットいこまの相談者数も目標値を超えるなど相談支援窓口としての認知度は上がってきており、様々な困難を抱える子ども・若者を支援する仕組みが機能しつつあると考えられるため。											

A: 5年後のまちをすでに実現している B1: 5年後のまちの実現に向けて順調に進んでいる B2: 5年後のまちの実現に向けて概ね順調に進んでいる  
C1: 5年後のまちの実現にはもう少し努力が必要である C2: 5年後のまちの実現には努力が必要である C3: 5年後のまちの実現には相当努力が必要である

総合計画審議会からの5年後のまちの実現に向けた提言等
<p>・子どもがスマートフォンを持つことにより、インターネットがより身近になったが、便利な反面、ネット社会には闇が潜んでおり、犯罪に巻き込まれるケースも増えている。、ネットリテラシー教育等、早急に対策が求められる。</p> <p>・大人の引きこもりが多数潜在化している。まずは、顕在化させ早期に自立支援に向けて取り組まれない。</p>

3-1-1 人権・多文化共生

細分野	5年後のまち	5年後のまちの実現に効果のあった取組 (効果のあった取組から順に)	取組による5年後のまちへの効果の内容とその根拠
① 人権	①市民が人権について正しい知識を持ち、互いに理解し、尊重し合えるように人権意識が高まっている。	①3 市民が主体的に参加できる人権についての講座・研修会・催しの充実により、意識の高揚を図ります。(人権施策課)	人権問題を身近に感じ、あらゆる差別の解消に取り組むため、7月の強調月間に合わせて「差別をなくす市民集会」を、12月の人権週間に合わせて子どもと保護者を対象に「子どもじんけん映画会」を開催。合わせて2,000名の来場があり、広く市民に啓発した。
		①2 市民や事業者へ人権についての教育・啓発を推進します。(人権施策課)	人権を身近な課題として話し合い、地域での絆を深める取組として、人権教育地区別懇談会を開催し、401人も参加があった。アンケート結果では、96.5%の方から「人権を身近な問題として捉えることができた。」との回答があり、地域の自治会から人権意識が高まっている。
		①4 多様な人権問題に対応するため、市民や各種団体等と連携するとともに、これまで取り組んできた成果や課題を踏まえ、多様な機会や媒体を通じて教育・啓発を進めます。(人権施策課・教育指導課)	人権教育講座「山びこ」を生駒市人権教育推進協議会と共催で開催している。毎回異なる人権課題をテーマとして講演等を行い、第1回～6回(7回はコロナにより中止)の参加者数は2,190名と昨年度の1,554名から大きく増加し、市民の関心が高まっている。
	市民実感度		
	「5年後のまちが実現していると思う」+「どちらかといえば実現していると思う」の割合		
	24.1%	(参考) 前回 -%	
細分野	5年後のまち	5年後のまちの実現に効果のあった取組 (効果のあった取組から順に)	取組による5年後のまちへの効果の内容とその根拠
② 多文化共生	②外国人住民が快適に生活でき、日本人と外国人住民が互いに理解・尊重し合い、共生できる社会が実現している。	②2 外国人住民教育推進懇話会等の意見を踏まえ、多文化共生事業の推進を図ります。(人権施策課)	市内在住等の外国の方に、日常生活に不自由しないようボランティアによるマンツーマンの日本語教室を開催している。近年は、技能実習生の参加も多く、全く会話できなかった方々も徐々に上達し、職場や住民とコミュニケーションが図れるようになった。またボランティア支援者と会話を通じて異文化を学ぶことで、お互いに理解と友好を育むことができています。
		②3 外国人住民の生活支援や国際交流活動を担うため、支援できる環境づくりを推進します。(人権施策課・広報広聴課)	国際化ボランティアの協力により、市作成文書の通訳サービスを実施した。市ホームページでは外部サイトの自動翻訳システムを利用して日本語版と同内容をリアルタイムで表示しており、言語障壁を取り除くように図った。
		②4 青少年が多文化を理解できるような事業等を開催します。(生涯学習課)	「ユニバーサルキャンプin生駒」については外国人住民の参加がなかったが、国際交流事業として「わいわいワールド」(参加者185人)を開催し、市内の小中学生に対し様々な遊びや体験を通して外国人住民等との交流の機会を提供できた。
	市民実感度		
	「5年後のまちが実現していると思う」+「どちらかといえば実現していると思う」の割合		
	32.5%	(参考) 前回 -%	

「市民ができること」取組状況		【市民満足度調査 R2.8月実施】	「十分取り組んでいる」+ 「取り組んでいる」	(参考)前回
①	日常生活において、人権感覚を身につけている。		27.3%	-
②	多様な文化に対する理解を深め、尊重する意識を持っている。		30.4%	-



多様な主体との協創による取組		5年後のまちを実現するにあたっての課題とその解決方法	指標																	
<p>第46回奈良県 人権・部落解放研究集会を本市において22年ぶりに開催し、808名の全体会参加があった。</p> <p>生駒市など59団体が構成する実行委員会で開催し、「包摂と寛容の社会づくり」をテーマに、今日的課題である「引きこもりと対話実践」を基調講演として第一人者である齋藤環氏を講師に迎え、様々な人権課題に取り組む多様な団体の方々と連携した分科会を設定し、大所高所から分野別の人権課題まで、意見交換を通じて理解を深め、より良い取組とすることができた。</p>		<p>人権問題は、社会構造の複雑化や多様化、社会情勢の変化に伴い、人権課題も多様化しており、女性、子ども、高齢者、障がいのある人、同和問題、外国人など多岐に渡っている。近年においては、犯罪被害者とその家族、インターネット等による人権侵害、LGBTなど性的少数者に関する問題など新たな課題への対応が求められている。</p> <p>昨年度に犯罪被害者等支援条例を制定したところであり、性的少数者やインターネット等による人権侵害などの新たな課題に対しても、国・県・他自治体の動向も見据えながら、だれもが尊重しあえる住みよい街を目指し、より良い施策を検討・導入していく必要がある。</p>	<p>① 人権教育地区別懇談会の開催地区数(地区)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H29</td><td>11</td></tr> <tr><td>H30</td><td>16</td></tr> <tr><td>R1</td><td>32</td></tr> <tr><td>R2</td><td>47</td></tr> <tr><td>R3</td><td>59</td></tr> <tr><td>R4</td><td>71</td></tr> <tr><td>R5</td><td>83</td></tr> </tbody> </table>		年度	実績値	H29	11	H30	16	R1	32	R2	47	R3	59	R4	71	R5	83
年度	実績値																			
H29	11																			
H30	16																			
R1	32																			
R2	47																			
R3	59																			
R4	71																			
R5	83																			
		<p>課題解決のために必要な要素</p> <p><input type="checkbox"/> 財源    <input checked="" type="checkbox"/> 人員    <input type="checkbox"/> 組織体制</p> <p><input type="checkbox"/> その他 ( )</p>	<p>① 講演会等参加者の人数(人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H29</td><td>2,194</td></tr> <tr><td>H30</td><td>3,771</td></tr> <tr><td>R1</td><td>4,800</td></tr> <tr><td>R2</td><td>6,100</td></tr> <tr><td>R3</td><td>7,400</td></tr> <tr><td>R4</td><td>8,700</td></tr> <tr><td>R5</td><td>10,000</td></tr> </tbody> </table>		年度	実績値	H29	2,194	H30	3,771	R1	4,800	R2	6,100	R3	7,400	R4	8,700	R5	10,000
年度	実績値																			
H29	2,194																			
H30	3,771																			
R1	4,800																			
R2	6,100																			
R3	7,400																			
R4	8,700																			
R5	10,000																			
細分野の進捗度	進捗度選択の理由																			
B2	<p>①市民が主体的に参加できる人権講座として、人権教育講座「山びこ」や「差別をなくす市民集会」、「子どもじんけん映画会」といった従来の取組に加え、奈良県人権・部落解放研究大会本市開催、犯罪被害者支援講演会等多様な啓発講座を提供した。</p> <p>②地域から草の根的な人権意識の醸成として、人権教育地区別懇談会を開催し、前年度170名からR1年度401名と参加者が増加した。</p> <p>これらの取組を実施し、概ね順調に進めているが、「5年後のまち」の実現に向けて、今後も多様化する人権課題に対応する必要があるため進捗度をB2とした。</p>																			
多様な主体との協創による取組		5年後のまちを実現するにあたっての課題とその解決方法	指標																	
<p>商工観光課と合同で、国際化ボランティアと、市内の観光業者等でインバウンド対応時の語学の助けを必要としている方とをマッチングする場を設け、インバウンドを契機とした観光施策の仕組みを構築した。(ボランティア14人参加、事業者3組参加)</p>		<p>日本語教室は、外国人住民がコミュニケーションを図るにあたり、効果的な施策である。生徒と支援ボランティアのマンツーマン学習を実施しており、支援者募集の周知に努めて増加したものの、学習希望者が増え続けており、また開催場所も定員数に達しつつある。</p>	<p>② 日本語教室の学習者数(人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H29</td><td>1,268</td></tr> <tr><td>H30</td><td>2,715</td></tr> <tr><td>R1</td><td>3,800</td></tr> <tr><td>R2</td><td>5,100</td></tr> <tr><td>R3</td><td>6,400</td></tr> <tr><td>R4</td><td>7,700</td></tr> <tr><td>R5</td><td>9,000</td></tr> </tbody> </table>		年度	実績値	H29	1,268	H30	2,715	R1	3,800	R2	5,100	R3	6,400	R4	7,700	R5	9,000
年度	実績値																			
H29	1,268																			
H30	2,715																			
R1	3,800																			
R2	5,100																			
R3	6,400																			
R4	7,700																			
R5	9,000																			
		<p>課題解決のために必要な要素</p> <p><input type="checkbox"/> 財源    <input checked="" type="checkbox"/> 人員    <input type="checkbox"/> 組織体制</p> <p><input type="checkbox"/> その他 ( )</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>目指す値</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>R1</td> <td>R1</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3,800</td> <td>4,462</td> </tr> </tbody> </table>		年度	目指す値	実績値	R1	R1	R1		3,800	4,462							
年度	目指す値	実績値																		
R1	R1	R1																		
	3,800	4,462																		
細分野の進捗度	進捗度選択の理由																			
B2 →C1	<p>日本語教室の学習支援者を増やすため、SNSやHP、広報紙で広く取組を周知するとともに、支援者向けに養成講座や研修会、交流会を開催して、支援サポートを行った。結果、R1年度末で106名の登録があり、H30年度末と比較し34名増加した。</p> <p>概ね順調に進めているが、「5年後のまち」の実現に向けて、多文化共生の環境づくりに対応する必要があるため進捗度をB2とした。</p>																			

A: 5年後のまちをすでに実現している B1: 5年後のまちの実現に向けて順調に進んでいる B2: 5年後のまちの実現に向けて概ね順調に進んでいる  
C1: 5年後のまちの実現にはもう少し努力が必要である C2: 5年後のまちの実現には努力が必要である C3: 5年後のまちの実現には相当努力が必要である

総合計画審議会からの5年後のまちの実現に向けた提言等
<ul style="list-style-type: none"> <li>多文化共生を進めていくために、親が外国人であるなどの外国ルーツの住民に対して、どの程度配慮が必要なのか把握すべき。</li> <li>細分野「多文化共生」について、施策の更なる充実が求められるため、現時点での進捗度評価としてはC1が妥当。</li> <li>対象者の人数に関わらず、市民の力も借りながら、必要などころに必要な施策を講じられたい。</li> <li>国際交流施策と人権施策とを整理したうえで、もう少し踏み込んだ施策を展開されたい。</li> </ul>

3-1-2 男女共同参画

細分野	5年後のまち	5年後のまちの実現に効果のあった取組 (効果のあった取組から順に)	取組による5年後のまちへの効果の内容とその根拠
① 共同参画の意識形成	① 男女が平等で互いの人権が尊重され、社会のあらゆる分野でだれもが個性や能力を發揮できるよう、さらなる取組が進んでいる。	① 1	男女共同参画社会の実現に向けて、女性の社会的地位の向上と社会参画意識の高揚のため各種講座を開催した。また、対象者の参加しやすい講座とするため、一部の講座では土曜日開催とするとともに、託児サービスを実施した。
		① 2	ワーク・ライフ・コミュニティ・バランスの推進やDV防止、LGBT、職場における男女共同参画などをテーマに、男女共同参画を進めるうえで、市職員・教職員として必要な知識や課題を学ぶ課題別職員研修等を実施した。
	市民実感度	① 4	電話や面接による女性相談や、女性法律相談などを実施しており、女性が抱えているさまざまな悩み(夫婦・家族・対人関係・DV等)の相談に応じ、自分らしい選択をしていけるように支援した。(R1相談件数137件)
	「5年後のまちが実現していると思う」+「どちらかといえば実現していると思う」の割合 25.1% (参考) 前回 -%	男女共同参画プラザを拠点とし、女性やDV被害者等への相談・支援体制を充実させ、DVやハラスメントを許さない地域づくりを進めます。(男女共同参画プラザ)	
細分野	5年後のまち	5年後のまちの実現に効果のあった取組 (効果のあった取組から順に)	取組による5年後のまちへの効果の内容とその根拠
② 女性活躍推進	② 女性活躍のための基盤整備が進み、あらゆる分野において女性が活躍できる公平性の高い社会の構築が進んでいる。	② 2	セミナーの内容を検討しながら、働き方改革や従来のジェンダー感に捉われない内容の講座・イベントを開催することで、普及啓発の取組を進めた。市職員の時間外勤務の指針を改正し、新たな指針等についての説明会の実施や来庁者に対して終業を知らせるアナウンスを庁内に流すことにより、長時間労働の抑制に取り組み、ワーク・ライフ・コミュニティ・バランスの推進につながった。
		② 3	ワーク・ライフ・コミュニティ・バランスの推進に向けた社会的気運の醸成、男性の家事・育児・介護への参画の促進等職場環境の整備を推進します。(男女共同参画プラザ・人事課)
	市民実感度	② 1	ワーク・ライフ・コミュニティ・バランスの普及啓発を図るため、多様な働き方・暮らし方を推進するセミナー「スタイリングウィーク」や男性の家事育児参加を目的とした「親子クッキング」などを開催した。これにより女性活躍の基盤整備が進んだ。
	「5年後のまちが実現していると思う」+「どちらかといえば実現していると思う」の割合 24.5% (参考) 前回 -%	市のすべての施策に多様な価値観と発想が取り入れられるよう、政策・方針決定過程への女性の参画を拡大するとともに、女性の人材の育成・活用に努めます。(男女共同参画プラザ・人事課)	女性職員を積極的に管理職へ登用し、R2年4月1日付で管理職の女性割合が29.0%となり、市役所における女性の活躍推進を図ることができた。

「市民ができること」取組状況		【市民満足度調査 R2.8月実施】	「十分取り組んでいる」+「取り組んでいる」	(参考) 前回
①	「男は仕事、女は家庭」という固定的な考えに基づくことなく、平日においても、家事(育児・介護等を含めて)を行っている。		42.3%	-
②	同上		-	-

多様な主体との協創による取組		5年後のまちを実現するにあたっての課題	指標	
差別や暴力、虐待防止のため、県関係機関や市の子どもサポートセンター、生駒警察署、地域の人々と密に連携を図っている。		市役所において、研修等を通じて意識形成を図っているが、民間企業や地域、家庭に対しても効果的な啓発を行う必要がある。また、DV相談は減少した(H30:193件→R1:137件)が、全国的に増加傾向にあり、潜在的な事例が存在している可能性があるため、さらに相談しやすい体制を整備する必要がある。	① 男女共同参画啓発講座等の開催数(件)	
		課題解決のために必要な要素		
		<input checked="" type="checkbox"/> 財源 <input checked="" type="checkbox"/> 人員 <input type="checkbox"/> 組織体制 <input type="checkbox"/> その他 (                      )		
細分野の進捗度	進捗度選択の理由		目指す値	実績値
C1	市民意識調査等では性別役割分担意識「男は仕事、女は家庭」という考え方について、「そう思わない」という人の割合がかなり上がってきており、性別役割分担意識は薄れつつある。しかし、DV被害等の問題は顕在しており、引き続き啓発を行う必要があるため、「5年後のまち」の実現に向けて更なる努力が必要と判断するため。		R1	R1
			100	103
多様な主体との協創による取組		5年後のまちを実現するにあたっての課題	指標	
イクボス専用サイト「イクボスIKOMA」を開設したことで、イクボス及びワーク・ライフ・バランスについて、市民や市内の事業所に啓発することができた。今後も社会と個人の関心に合わせた講座やイベントなどを企画し開催するとともに、イクボス宣言を行っている事業者を広く知ってもらうことで、ワーク・ライフ・バランスについて定期的に考える機会を増やし、普及啓発していけるよう継続して取り組む。		ワーク・ライフ・バランスの普及啓発としてイクボス宣言を市内事業所に対して個別にアプローチしているが、効果が限定的であるため全市的なアプローチを検討する必要がある。市の附属機関等における女性委員の割合を増やすため、全庁的に周知啓発を行っているが、年々減少傾向にあるため、改選時期に個別にアプローチするなど、啓発手法を検討する必要がある。	② 市の附属機関等の女性委員の割合(%)	
		課題解決のために必要な要素		
		<input checked="" type="checkbox"/> 財源 <input checked="" type="checkbox"/> 人員 <input type="checkbox"/> 組織体制 <input type="checkbox"/> その他 (                      )		
細分野の進捗度	進捗度選択の理由		目指す値	実績値
C1	講座やイベントを通して、女性のエンパワーメント向上につながる一定の取組を行い、女性活躍のための基盤整備を進めたが、市内事業所への働きかけ等、今後さらに推進する必要がある。また、市役所においては、女性管理職の割合は全国的に見ても高水準であるが、附属機関等の女性委員の割合が減少しており、更なる取組が必要である。これらのことから、「5年後のまち」の実現に向けて、より一層の努力が必要であるため。		R1	R1
			50	56
			② 市内のイクボス宣言事業者数(箇所)	
		課題解決のために必要な要素		
		<input checked="" type="checkbox"/> 財源 <input checked="" type="checkbox"/> 人員 <input type="checkbox"/> 組織体制 <input type="checkbox"/> その他 (                      )		
細分野の進捗度	進捗度選択の理由		目指す値	実績値
C1	講座やイベントを通して、女性のエンパワーメント向上につながる一定の取組を行い、女性活躍のための基盤整備を進めたが、市内事業所への働きかけ等、今後さらに推進する必要がある。また、市役所においては、女性管理職の割合は全国的に見ても高水準であるが、附属機関等の女性委員の割合が減少しており、更なる取組が必要である。これらのことから、「5年後のまち」の実現に向けて、より一層の努力が必要であるため。		R1	R1
			50	56

A:5年後のまちをすでに実現している B1:5年後のまちの実現に向けて順調に進んでいる B2:5年後のまちの実現に向けて概ね順調に進んでいる  
 C1:5年後のまちの実現にはもう少し努力が必要である C2:5年後のまちの実現には努力が必要である C3:5年後のまちの実現には相当努力が必要である

総合計画審議会からの5年後のまちの実現に向けた提言等
<ul style="list-style-type: none"> <li>市役所において、管理職の女性割合が3割近いことは評価できる。</li> <li>職員の旧姓使用については、精神的なハラスメントが起こらないよう、周囲の理解を進められたい。</li> <li>取組が直接的に「5年後のまち」の実現に繋がっているのか疑問を感じる。「5年後のまち」を意識した取組を進められたい。</li> </ul>

3-2-1 市民協働・地域コミュニティ

細分野	5年後のまち	5年後のまちの実現に効果のあった取組 (効果のあった取組から順に)	取組による5年後のまちへの効果の内容とその根拠
① 市民協働・協創	①市民・事業者・市がそれぞれの役割に応じて協働し、まちづくりが進んでいる。	①1 自治基本条例に基づく市民主体のまちづくりの実現に向け、参画と協働による取組を推進します。(市民活動推進課)	社会情勢や社会構造の変化に伴い、自治基本条例の見直しを実施し、条例の逐条解説に関して現状に合う解説に改善した。これにより、具体的に協働のまちづくりを進めるイメージを共有することができた。
		①2 参画と協働に関する職員への意識高揚を図ります。(市民活動推進課)	自治基本条例の原則である参画と協働の推進に向け、職員の意識高揚を図るために研修を実施した。研修後のアンケートからは建設的、前向きな回答が多くあったが、さらなる意識の高揚を図るため、継続的な研修を進めることが必要と考える。
	市民実感度	①5 市民等の協働による事業を支援するとともに、公共・公益イベントについての情報発信を行います。(市民活動推進課)	イコマニア制度を活用し、市民が実施するイベント等の広報活動を支援するとともに、保険にも加入した。年度末は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、認定件数が増加しなかったが、新型コロナウイルスの影響がなければ件数は増加していたと見込まれるため、市民とともに協働するまちづくりが少しずつ広がりを見せていると考える。
	「5年後のまちが実現していると思う」+「どちらかといえば実現していると思う」の割合 32.7% (参考) 前回 -%		
細分野	5年後のまち	5年後のまちの実現に効果のあった取組 (効果のあった取組から順に)	取組による5年後のまちへの効果の内容とその根拠
② 地域活動	②地域に住む人々が、まちづくりの主役・コミュニティの担い手として、協力し合いながらまちづくりが進んでいる。	②2 地域コミュニティの中核である自治会の活動を支援します。(市民活動推進課)	自治連合会全体集会及び市政研修会、自治会役員会研修会等を実施した。自治会長(役員)に市の取組を知ってもらうとともに、自治会運営の充実と、コミュニティの活性化に役立ててもらう機会を提供できた。
		②3 地域コミュニティの活動拠点である地区集会所の整備に対して支援します。(市民活動推進課)	自治会や地域の人々にとって活動の拠点となる集会所の改築や改修などに対して補助を行うことで、地域コミュニティの推進に寄与した。
	市民実感度	②4 これからの地域のあり方を考える機会の提供をはじめ、多様な主体が地域の課題解決のために取り組む市民自治協議会の立ち上げや活動を支援し、地域コミュニティを強化します。(市民活動推進課)	新たに1か所、準備会から市民自治協議会に認定した。その他の準備会についても、ワークショップを開催するなど、課題解決に向けた組織づくりの推進に努めた。地域が主体となってまちづくりが進められるよう継続的なサポートが効果的と考える。
	「5年後のまちが実現していると思う」+「どちらかといえば実現していると思う」の割合 33.6% (参考) 前回 -%		
細分野	5年後のまち	5年後のまちの実現に効果のあった取組 (効果のあった取組から順に)	取組による5年後のまちへの効果の内容とその根拠
③ 市民活動	③様々な分野におけるNPOの活動が展開され、地域との連携によるまちづくりが進んでいる。	③2 コーディネート機能を充実します。(市民活動推進センター)	市民活動推進センターに関わるNPOが、地域で活動している人・団体に対して提供できるスキルをプログラム化して一覧にまとめた「おたすけ帳」を作成し、学童や自治会に配布し、コーディネートの一助とした。この効果もあり、指標の「コーディネート件数」は昨年度より増加し178件となった。
		③1 NPO活動を支援します。(市民活動推進センター)	団体の長所やプログラム化できる事業等を客観的な目線でとらえ、コーディネーターによるアドバイスなどを行った。その結果団体の新たなプログラム開発等につながった。
	市民実感度	③3 市民活動を活発にするための各種講座等を実施します。(市民活動推進センター)	活動をPRするための告知パンフレットを作り、広報力を高めるための「三つ折りリーフレット作成講座」とNPOの活動資金確保の支援を目的とした「助成金セミナー」を開催した。これらの講座に延べ33団体が出席し、NPOの活動促進につながった。
	「5年後のまちが実現していると思う」+「どちらかといえば実現していると思う」の割合 24.5% (参考) 前回 -%		

「市民ができること」取組状況		【市民満足度調査 R2.8月実施】	「十分取り組んでいる」+ 「取り組んでいる」	(参考) 前回
①	まちづくりに関心を持ち、地域活動や市民活動の理解を深め、活動している。		11.9%	-
②	自治会活動など地域のコミュニティ活動に参加、協力している。		24.6%	-
③	社会貢献活動に興味を持ち、市民活動を活発にするための講座等に参加している。		7.4%	-

